

平成22年度(1)

# 県政モニター アンケート報告書

テーマ「愛知県の広報広聴活動」

平成22年 9 月

# も く じ

調査の概要 .....	1
調査結果	
1 情報の入手方法 .....	3
2 愛知県の広報活動の認知状況 .....	5
3 愛知県の広報の印象 .....	8
4 愛知県からの情報の充足感 .....	10
5 愛知県の広報活動に対する評価 .....	14
6 充実すべき広報 .....	16
7 「広報あいち」の工夫 .....	19
8 テレビ広報番組のあり方 .....	22
9 県政への親しみ、関心を喚起する広報 .....	23
10 県外に向けた効果的な広報 .....	25
11 愛知県の広聴活動に対する評価 .....	29
12 充実すべき広聴活動 .....	31
13 自由意見 .....	33
質問と回答 .....	43

# 調査の概要

## 1 調査のテーマ

愛知県の広報広聴活動

## 2 調査の趣旨

景気の回復や雇用の確保、少子高齢化の進展を踏まえた安心できる福祉社会の実現、さらには地球環境問題への対応など、私たちの地域社会は多くの課題を抱えており、県ではこれら課題に積極的に取り組んでいるところです。

また、世界的な都市間競争、地域間競争の時代が到来した今、県外に向けて愛知の魅力を積極的に情報発信し、愛知の存在感を高め、地域の力を最大限に発揮していくことが求められています。

県がこうした取組を進めていくためには、何よりも県民の皆様のご理解と信頼を得ることが大切であり、県民の皆様に対し県の現状や施策等をわかりやすくお知らせするとともに、県民の皆様からいただいたご意見を適切に県政に反映する「広報広聴活動」がますます重要になっています。

そこで、今後の県の広報広聴活動の参考とするため、県政モニターの皆様にご意見をお聞きしました。

## 3 調査対象

県政モニター 497人（平成22年6月30日現在）

内訳

区 分	計		名古屋地域	尾張地域	三河地域	
	人 員	構 成 比				
総 数	497人	100.0%	153人	187人	157人	
性 別	男 性	240	48.3	78	89	73
	女 性	257	51.7	75	98	84
年 代 別	20 代	78	15.7	25	28	25
	30 代	106	21.3	31	42	33
	40 代	92	18.5	29	35	28
	50 代	81	16.3	23	32	26
	60 代 以上	140	28.2	45	50	45

## 4 調査期間

平成22年6月2日から平成22年6月20日まで

## 5 調査方法

郵送・インターネット（選択）

## 6 回答者数

481人（回収率96.8%）

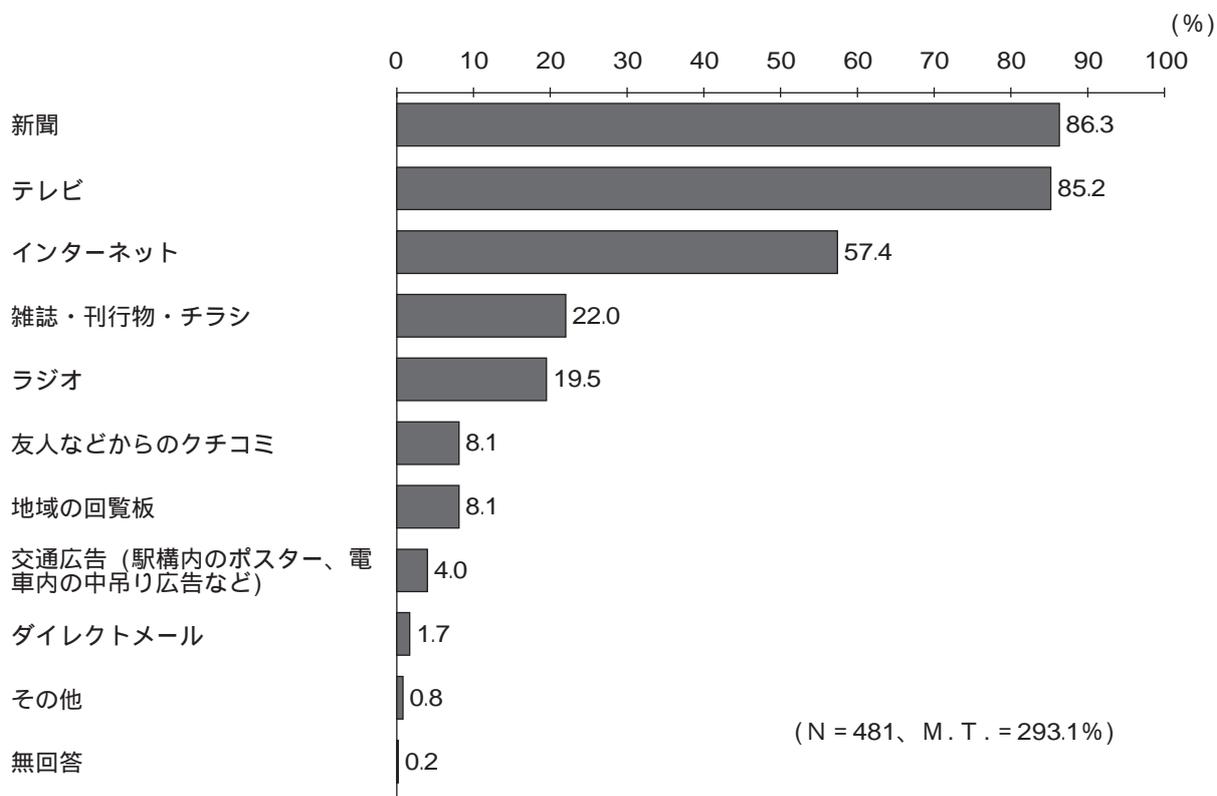
### 【記号・符号・用語の説明】

- (1) N (Number of Cases の略) は比例算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (2) M. T. (Multiple Total) は複数回答を認める質問に対する回答の比率の合計を示す。(無回答者の数値は含まない。)
- (3) 回答が1つの質問であっても、小数第2位を四捨五入して割合を求めているため、合計が100%にならないことがある。

# 調査結果

## 1 情報の入手方法

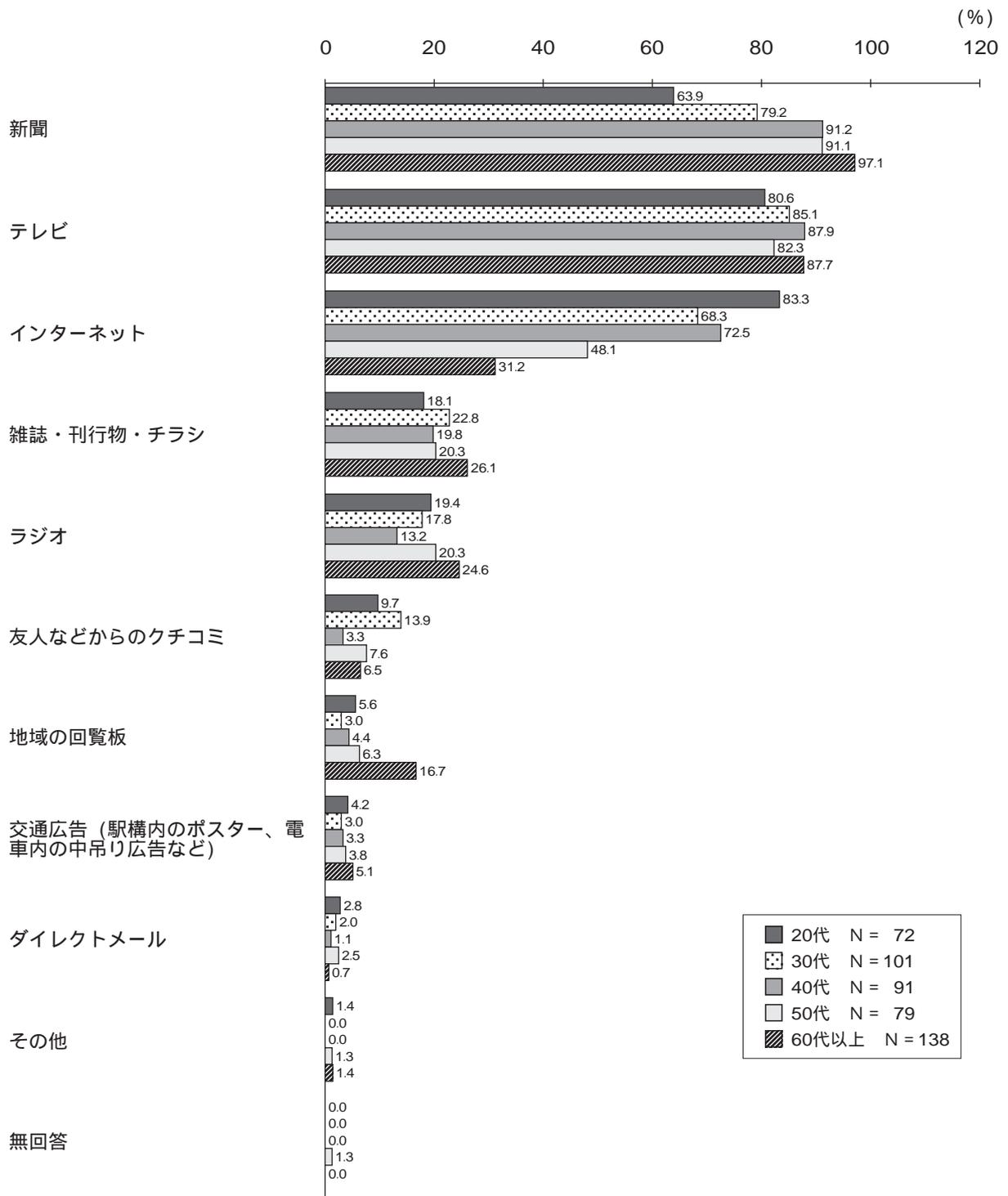
問1 あなたは日常生活の中で、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなど、どのような媒体から情報を得ることが多いですか。(回答は3つまで)



日常生活の中で、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなど、どのような媒体から情報を得ることが多いか尋ねたところ、「新聞」が86.3%、「テレビ」が85.2%、「インターネット」が57.4%、「雑誌・刊行物・チラシ」が22.0%、「ラジオ」が19.5%などとなっている。

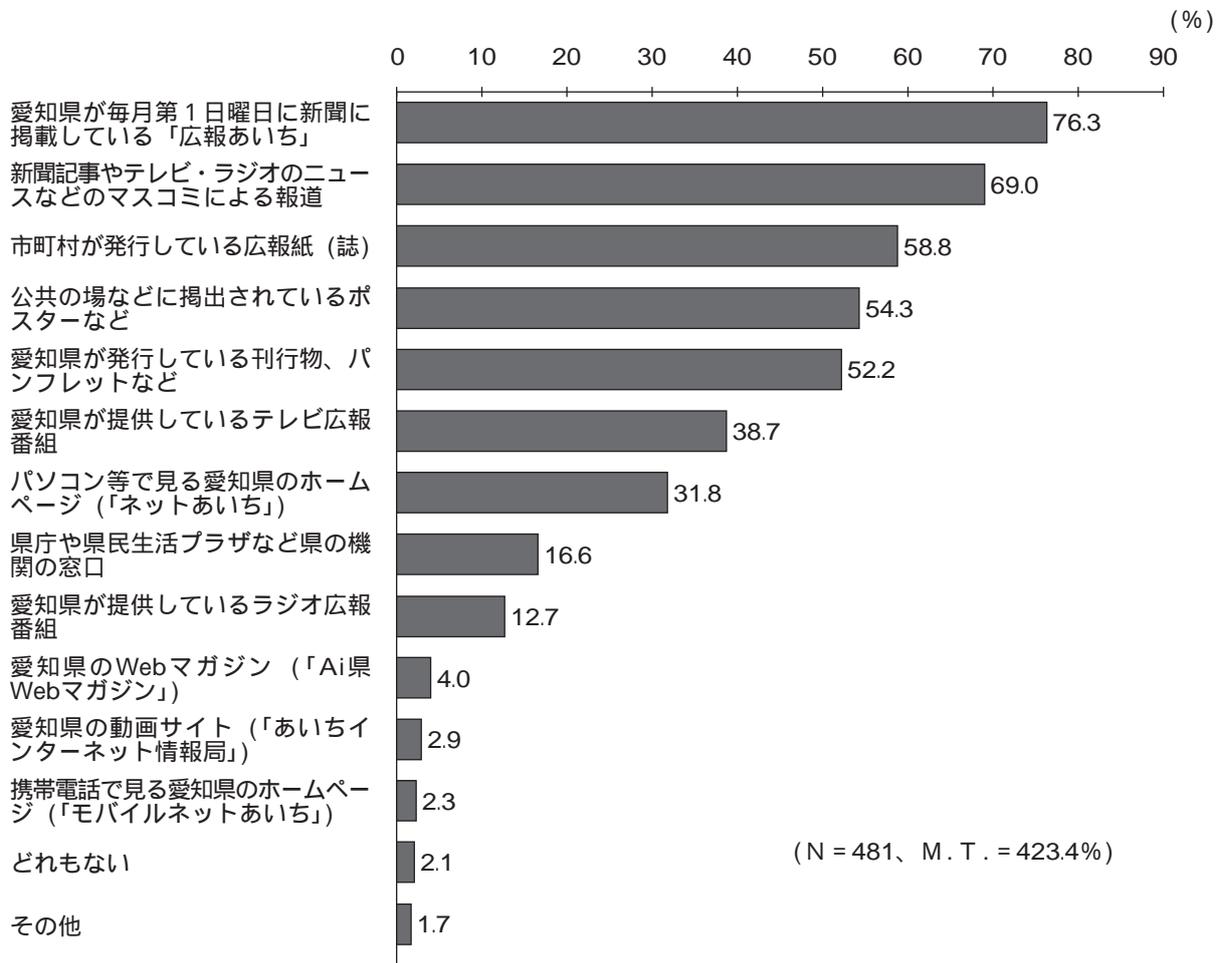
年代別にみると、「新聞」と答えた人の割合は概ね年代が上がるほど高くなっており、「インターネット」と答えた人の割合は概ね年代が下がるほど高くなっている。

(年代別)



## 2 愛知県の広報活動の認知状況

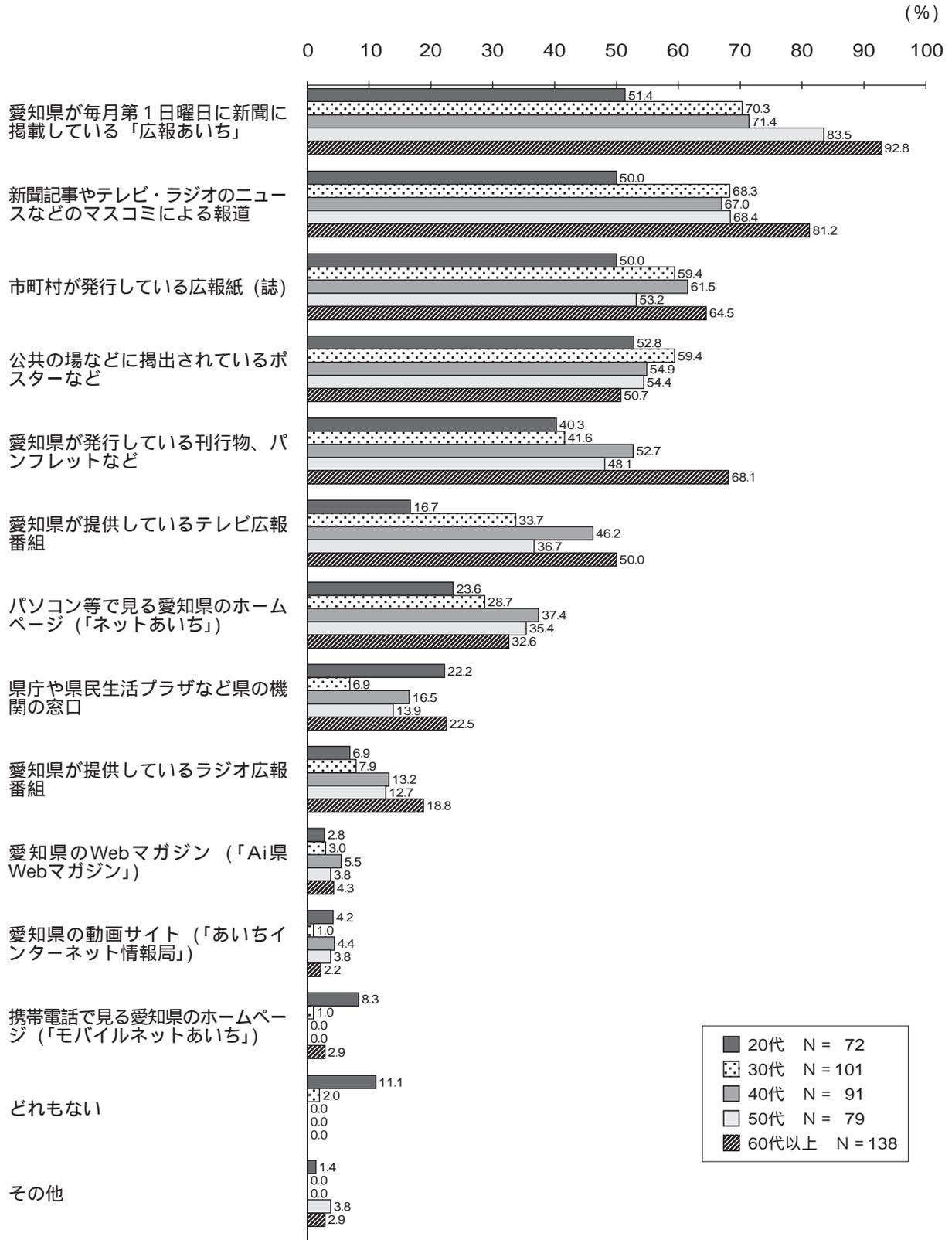
問2 県では、県政に関する情報を様々な方法で提供しています。次の中で、あなたが、見たり聞いたりしたことがある県の広報は何ですか。(回答はいくつでも)



見たり聞いたりしたことがある県の広報は何かを尋ねたところ、「愛知県が毎月第1日曜日に新聞に掲載している「広報あいち」が76.3%、「新聞記事やテレビ・ラジオのニュースなどのマスコミによる報道」が69.0%、「市町村が発行している広報紙(誌)」が58.8%、「公共の場などに掲出されているポスターなど」が54.3%などとなっている。

年代別にみると、「愛知県が毎月第1日曜日に新聞に掲載している「広報あいち」と答えた人の割合は年代が上がるほど高くなっている。また、「どれもなし」と答えた人の割合は全体では2.1%だが、40代以上では0%、20代では11.1%となっている。

(年代別)



本県では、県民の皆様に県政情報をお届けするため、さまざまな広報媒体により広報を行っています。今後とも、それぞれの広報媒体の特性を活かし、必要なときに必要な情報を正確に県民の方へお届けするよう努めてまいります。

#### 1 広報あいち

毎月第1日曜日に新聞紙面（中日、朝日、毎日、読売）に「広報あいち」を掲載しています。「広報あいち」は各県民事務所・保健所・県税事務所・建設事務所、ウィルあいち、アイリス愛知、陶磁資料館にも掲出するとともに、愛知県のホームページにも掲載しています。愛知県のホームページではテキスト形式でも掲載しておりますので、音声ブラウザにより読み上げることができます。また、毎月第2月曜日（第2月曜日が第1日曜日の翌日となる場合は第3月曜日）には視覚障害がある方のために音声コード版を発行し、各市町村の福祉関係窓口に設置しています。この他、点字広報あいち、声の広報あいち（カセットテープ）を隔月で発行しています。

#### 2 テレビ放送番組（放送日時は番組編成により変更となることがあります） \*H22年度編成分

あいちホット情報（CBCテレビ）	毎週土曜日	18：50～18：55
リポートあいち（東海テレビ）	毎週土曜日	17：26～17：29
くらしのミニ情報（名古屋テレビ）	毎週水曜日	19：54～20：00
あいち県政ファイル（中京テレビ）	毎週土曜日	11：35～11：40
あいち発（テレビ愛知）	隔週火曜日	15：29～15：30

#### 3 ラジオ番組（放送日時は番組編成により変更となることがあります） \*H22年度編成分

あいち県政リポート（CBCラジオ）	毎月第2、4土曜日	11：25～11：29
こんにちは愛知県です（東海ラジオ）	毎月第1、3金曜日	10：35～10：38
AICHI SATURDAY TOPICS（FM AICHI）	毎月第1、3土曜日	8：16～8：19
AICHI SUNDAY TIPS（ZIP-FM）	毎月第1、3日曜日	7：23～7：26

#### 4 あいちインターネット情報局

動画をインターネット配信して、知事定例記者会見、県の施策や施設、過去の県政ニュースなどを紹介しています。

アドレス <http://www.doga.pref.aichi.jp/>

#### 5 Ai県ウェブマガジン

インターネット上の広報誌として、レポーターによる県の主要施策の紹介や県内レポート、県からのお知らせ、イベント紹介、講座募集案内などを掲載しています。

アドレス <http://www.merumaga.pref.aichi.jp/>

#### 6 モバイルネットあいち

愛知県の携帯電話向けWebサービスです。iモード・EZweb・Yahoo!ケータイでご利用になれます。

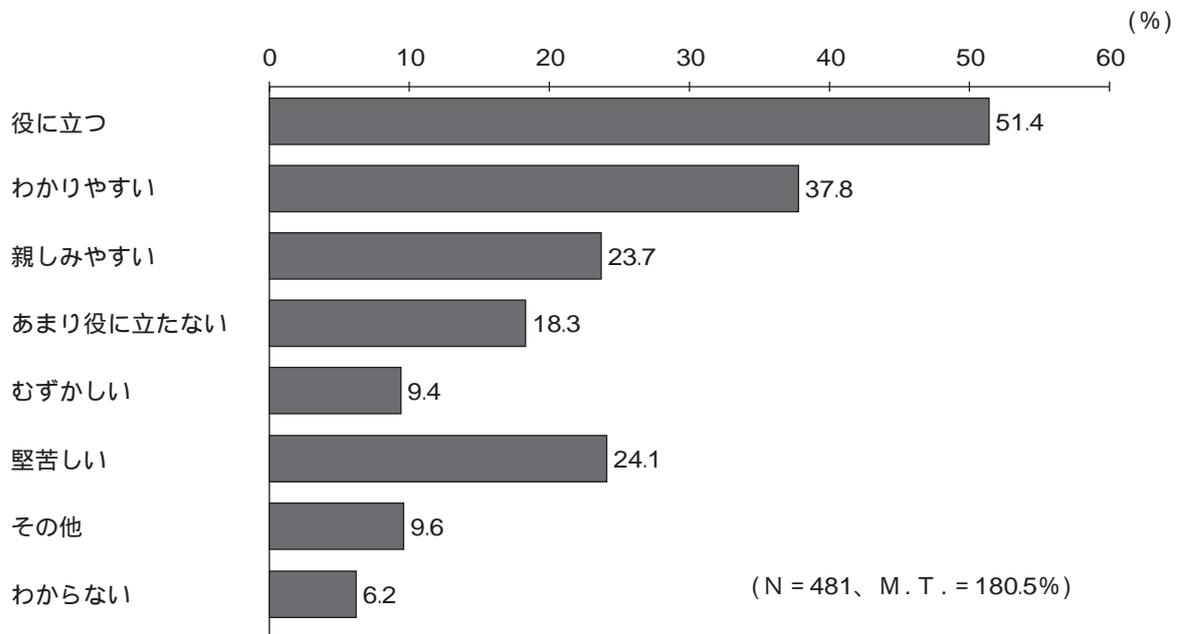
アドレス <http://www.pref.aichi.jp/mobile/>

(知事政策局広報広聴課)

### 3 愛知県の広報の印象

問3 県では、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどを使って様々な情報を県民の皆様を提供していますが、あなたは、県の広報について、どのような印象をお持ちですか。

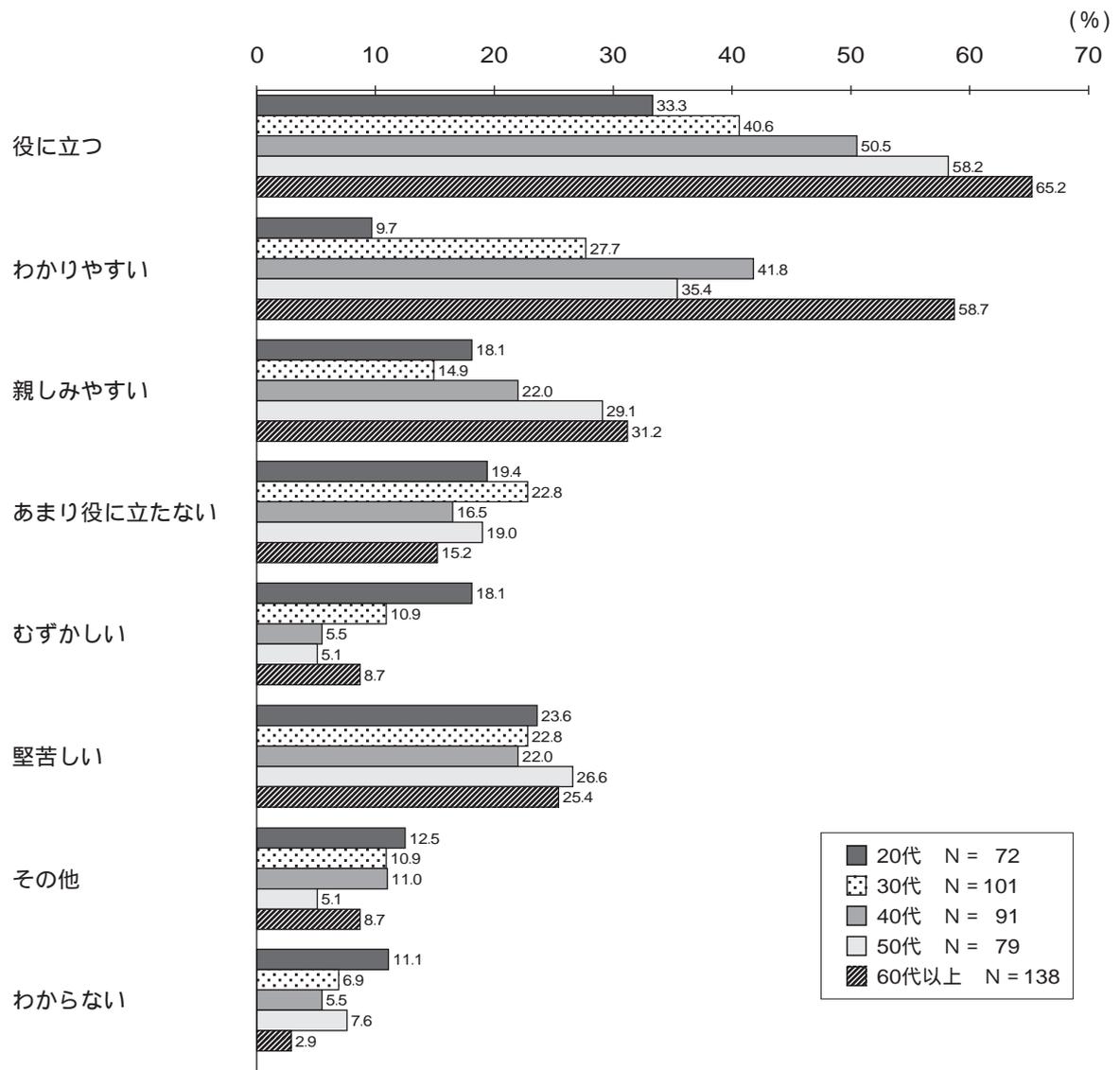
(回答はいくつでも)



新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどを使って提供している県の広報について、どのような印象を持っているか尋ねたところ、「役に立つ」が51.4%、「わかりやすい」が37.8%、「親しみやすい」が23.7%となっており、一方、「あまり役に立たない」が18.3%、「堅苦しい」が24.1%などとなっている。

年代別にみると、「役に立つ」、「わかりやすい」、「親しみやすい」と答えた人の割合は概ね年代が上がるほど高くなっている。

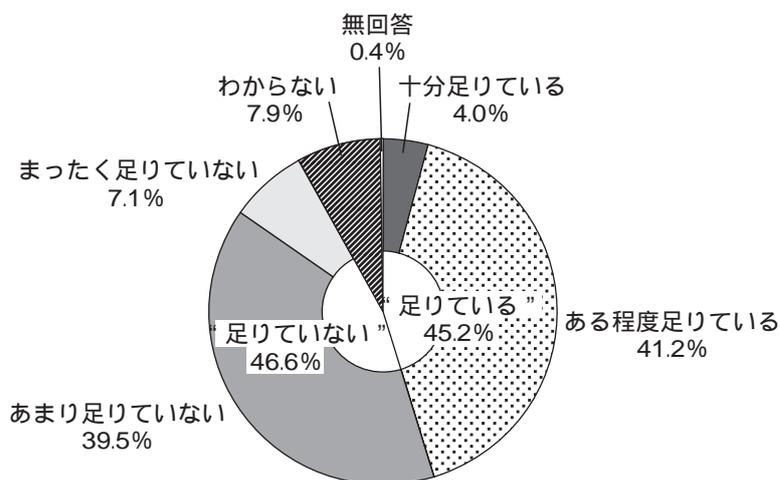
(年代別)



#### 4 愛知県からの情報の充足感

問4 県は、県民の皆様に様々な情報を提供していますが、欲しい情報は足りていると感じていますか。もっとも近いものを選んでください。(回答は1つ)

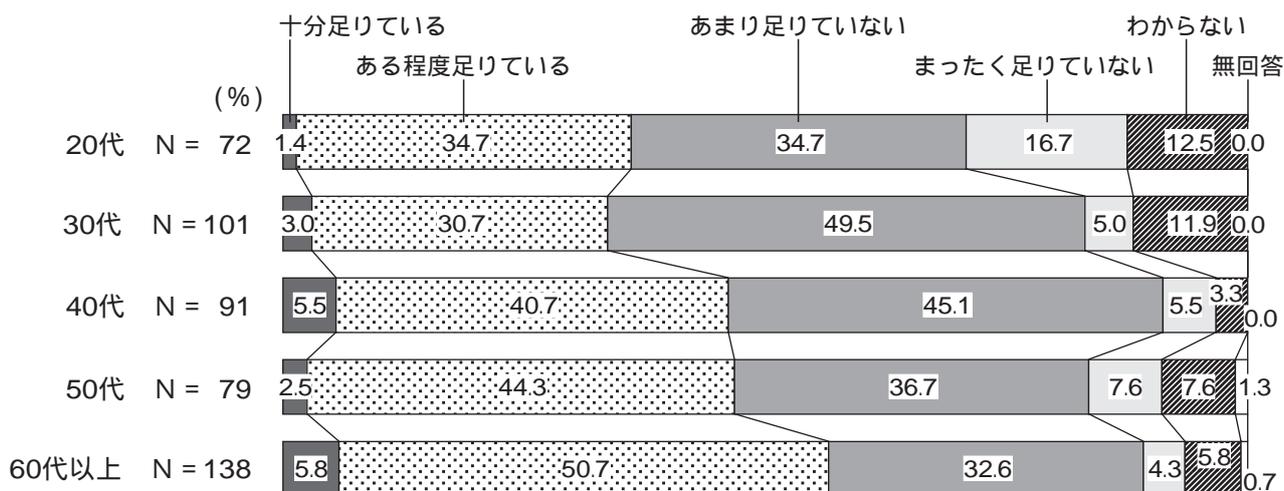
N = 481



愛知県からの情報提供について、欲しい情報は足りているかを尋ねたところ、「十分足りている」4.0%、「ある程度足りている」41.2%で、合わせた“足りている”が45.2%に対し、「あまり足りていない」39.5%、「まったく足りていない」7.1%で、合わせた“足りていない”が46.6%となっている。

年代別に“足りている”と答えた人の割合と“足りていない”と答えた人の割合を比較すると、60代以上では“足りている”が多く、30代、20代では“足りていない”が多い。

(年代別)

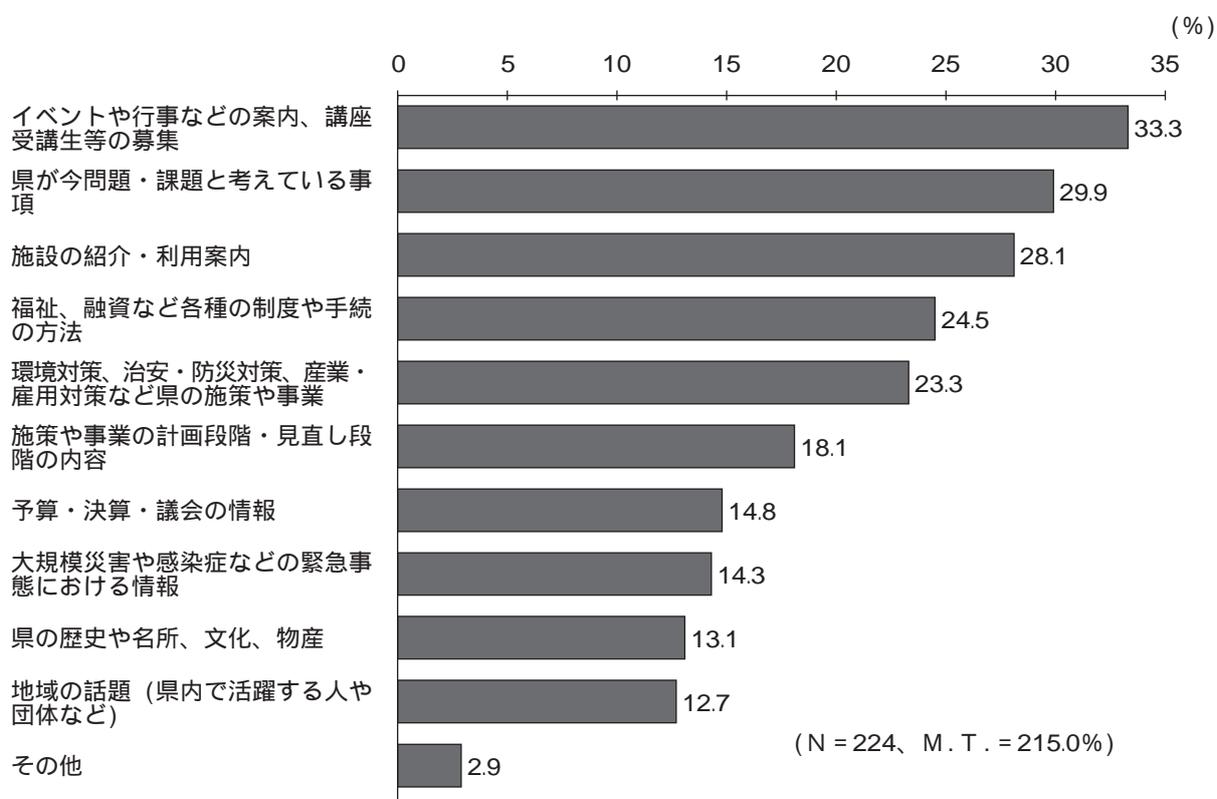


県の広報の印象については「役に立つ」が51.4%、「わかりやすい」が37.8%であった一方、「堅苦しい」が24.1%となっています。また、愛知県からの情報提供の充足感については、「足りている」が45.2%に対して「足りていない」が46.6%となっています。

県民の方に県政情報が的確に到達するよう、広報に際しては、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなど、それぞれの広報媒体の特性に配慮して効果的な活用を図り、タイムリーな情報発信を行ってまいります。また、内容については、分かりやすく親しみやすい広報を行うよう努めてまいります。

(知事政策局広報広聴課)

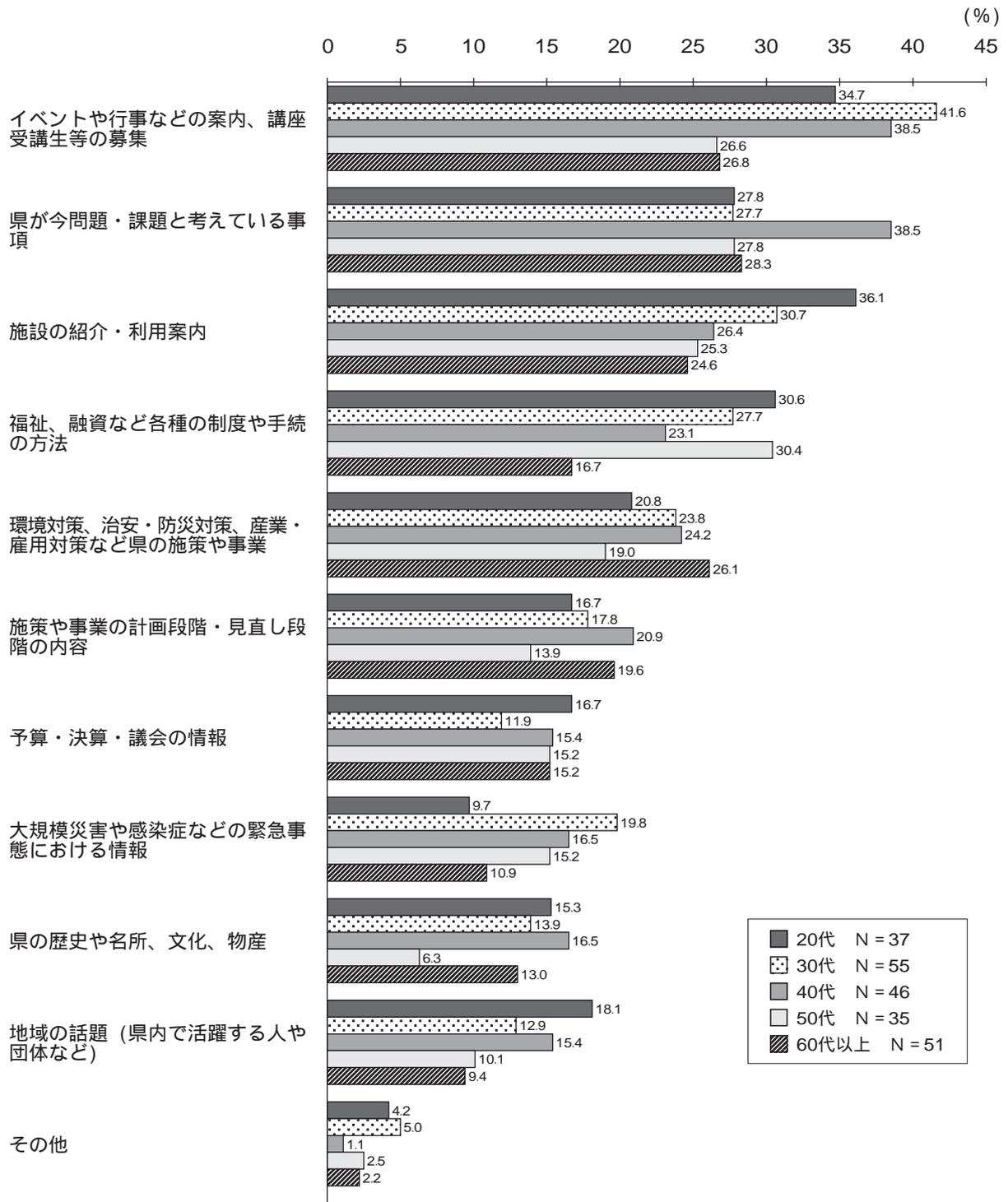
問5 <問4で、「あまり足りていない」または「まったく足りていない」と答えた方のみへの質問>  
 どのような情報が不足していると感じていますか。(回答はいくつでも)



問4で、「あまり足りていない」または「まったく足りていない」と答えた人に、どのような情報が不足しているかを尋ねたところ、「イベントや行事などの案内、講座受講生等の募集」が33.3%、「県が今問題・課題と考えている事項」が29.9%、「施設の紹介・利用案内」が28.1%、「福祉、融資など各種の制度や手続の方法」が24.5%、「環境対策、治安・防災対策、産業・雇用対策など県の施策や事業」が23.3%などとなっている。

年代別にみると、最も回答の割合が高かったのは、60代以上と40代では「県が今問題・課題と考えている事項」、50代では「福祉、融資など各種の制度や手続の方法」、30代では「イベントや行事などの案内、講座受講生等の募集」、20代では「施設の紹介・利用案内」となっている。

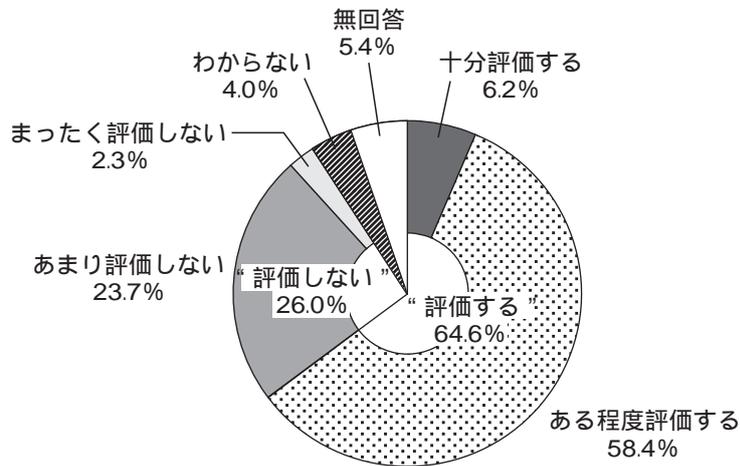
(年代別)



## 5 愛知県の広報活動に対する評価

問6 あなたは、全体として、県が行っている県民の皆様に対する広報をどのように評価されていますか。もっとも近いものを選んでください。(回答は1つ)

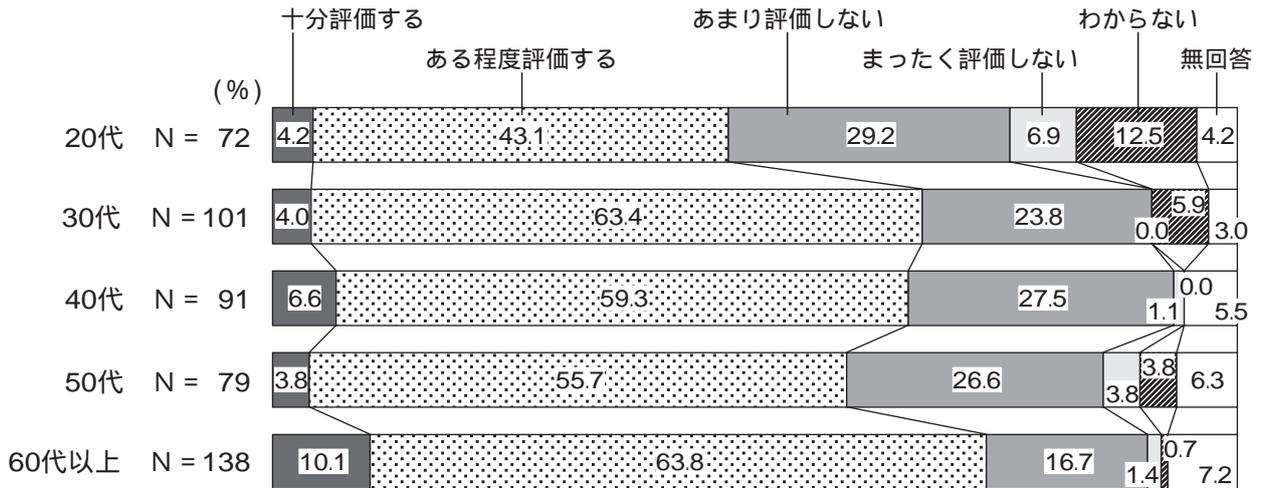
N = 481



県が行っている県民に対する広報をどのように評価しているか尋ねたところ、「十分評価する」6.2%、「ある程度評価する」58.4%で、合わせた“評価する”が64.6%に対し、「あまり評価しない」23.7%、「まったく評価しない」2.3%で、合わせた“評価しない”が26.0%となっている。

年代別にみると、“評価する”と答えた人の割合は概ね年代が上がるほど高くなっている。

(年代別)



「十分評価する」と「ある程度評価する」をあわせた“評価する”が64.6%の結果となり、「あまり評価しない」と「まったく評価しない」を合わせた“評価しない”の26.0%を上回っていますが、20代では“評価する”と“評価しない”との差が30代以上に比べて小さくなっています。

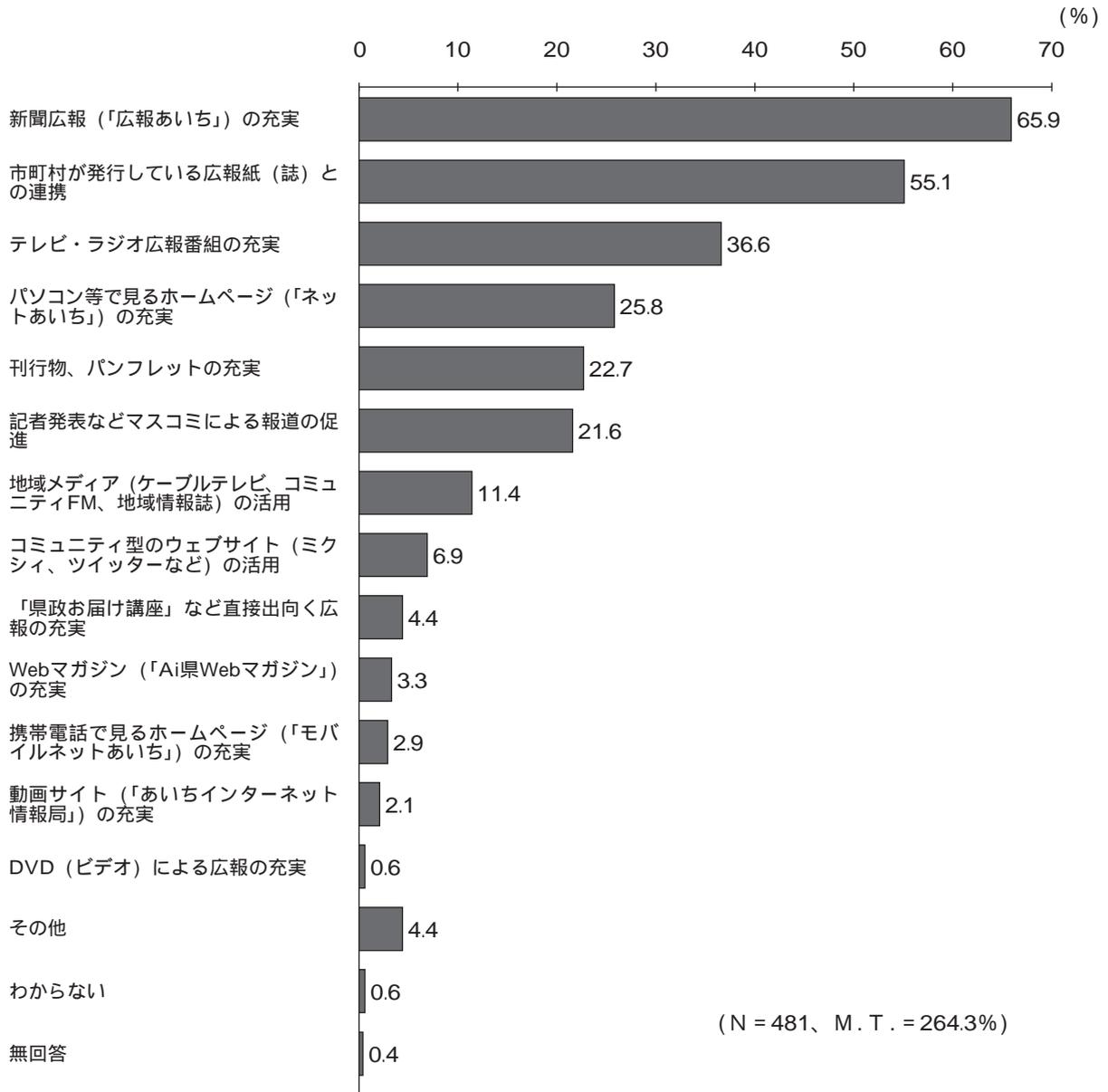
愛知県では、これまで、県民の方との総合的なコミュニケーションの強化を目指して広報を行ってまいりましたが、今後とも、必要な情報を、親しみやすい内容で、さまざまな広報媒体により的確にお届けすることで、すべての年代において満足度を向上させるよう努力してまいります。

(知事政策局広報広聴課)

## 6 充実すべき広報

問7 今後、県の広報を充実させるためには、どのような方法を取るのが効果的だと思いますか。

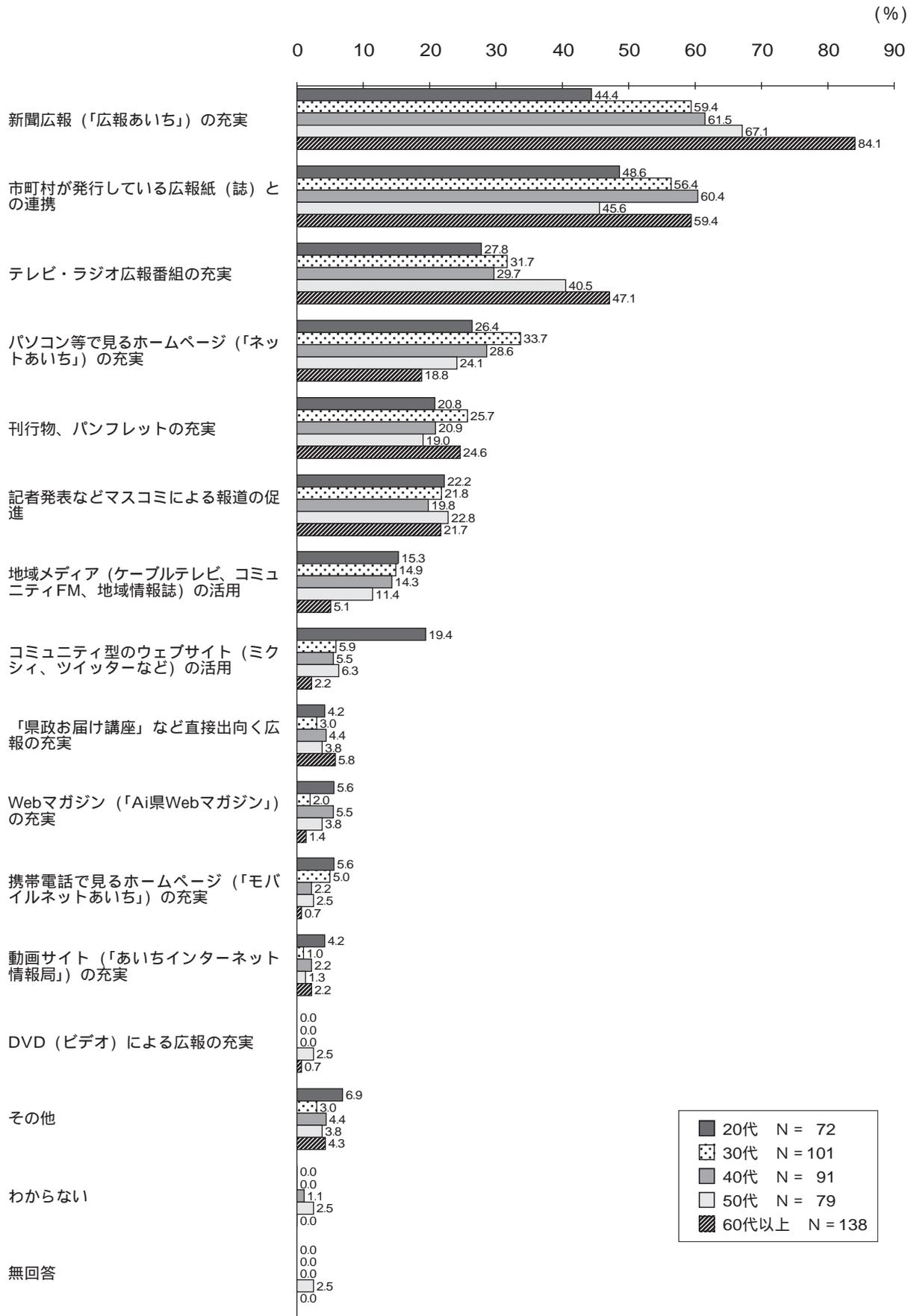
(回答は3つまで)



今後、県の広報を充実させるためにはどのような方法を取るのが効果的かを尋ねたところ、「新聞広報（「広報あいち」）の充実」が65.9%、「市町村が発行している広報紙（誌）との連携」が55.1%、「テレビ・ラジオ広報番組の充実」が36.6%、「パソコン等で見るホームページ（「ネットあいち」）の充実」が25.8%、「刊行物、パンフレットの充実」が22.7%などとなっている。

年代別で見ると、30代から60代以上では「新聞広報（「広報あいち」）の充実」と答えた人の割合が最も高く、20代では、「市町村が発行している広報紙（誌）との連携」が最も高くなっている。

(年代別)



「新聞広報の充実」が65.9%、「市町村が発行している広報紙（誌）との連携」が55.1%となっています。

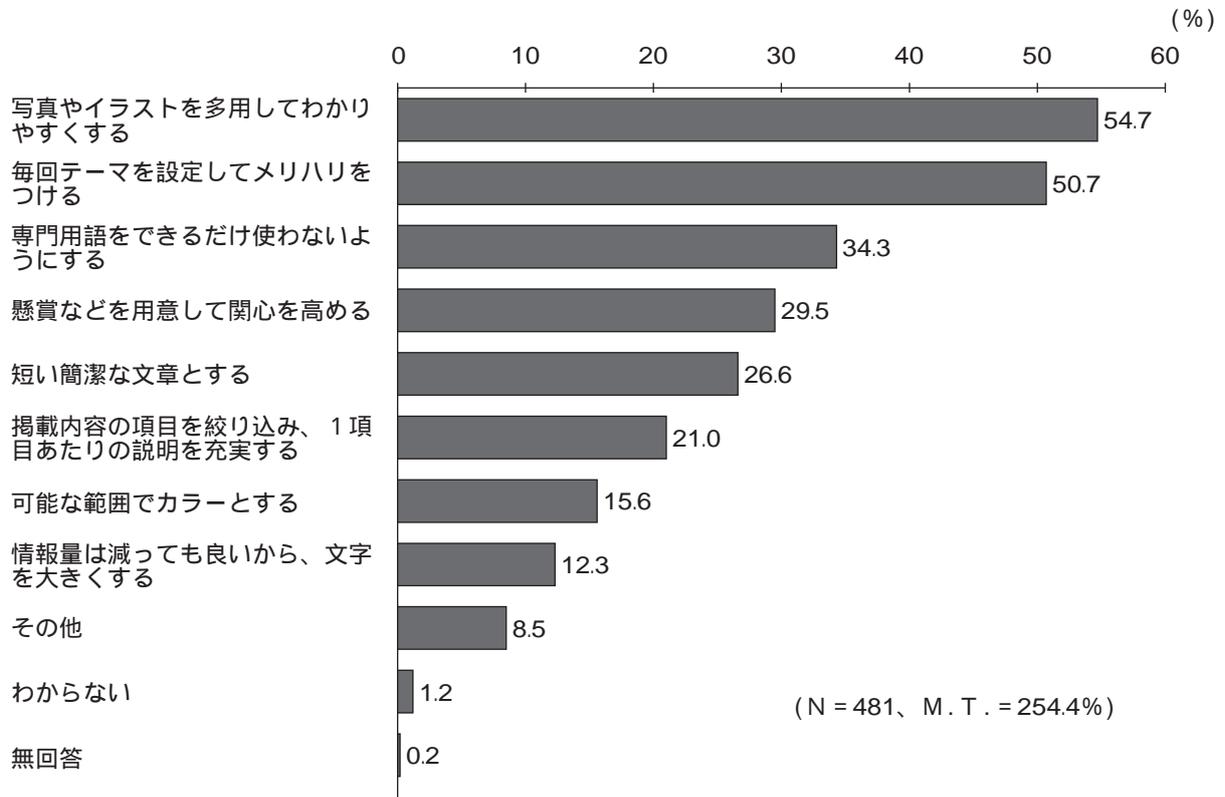
愛知県では、広報あいち（毎月第1日曜日に新聞紙に掲載）の情報提供量を増大し、また、訴求力を向上させるため、平成22年度から広報あいちの紙面を2面（両面）に拡大しました。また、各市町村が発行する広報紙（誌）等に県政情報を掲載してもらうため、毎月1回、身近な情報を各市町村等に提供しています。こうしたことに加え、地上デジタル放送など多様化する新たな情報伝達手段を効果的に使うことにより、県民の方との総合的なコミュニケーションを強化してまいりたいと考えております。

(知事政策局広報広聴課)

## 7 「広報あいち」の工夫

問8 県では、毎月第1日曜日の新聞に「広報あいち」を掲載しています。

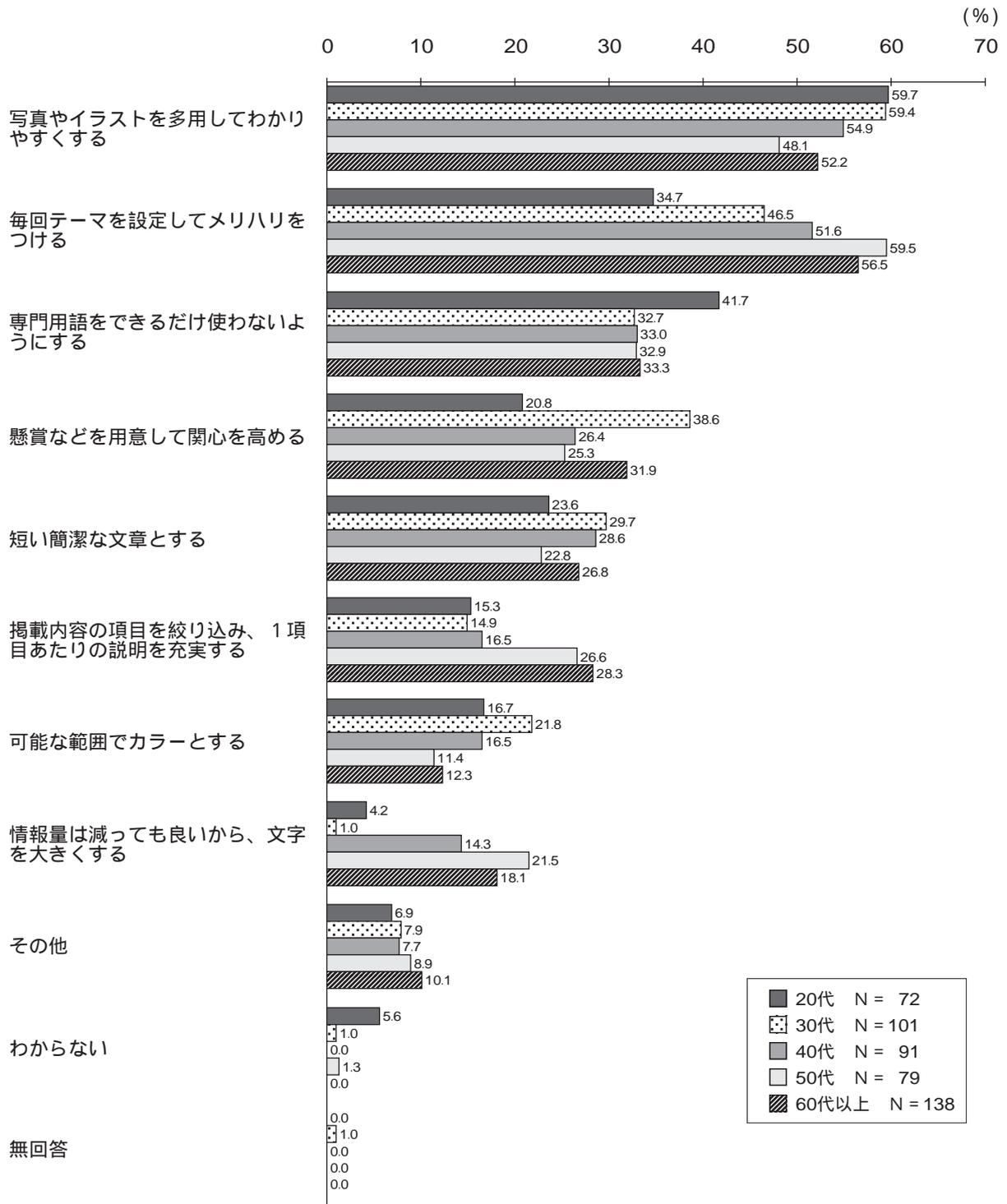
平成22年4月から、紙面を1面から見開き2面へと拡大しましたが、限られた紙面を活用して効果的な広報を行うために重要と思うことは何ですか。(回答は3つまで)



毎月第1日曜日の新聞に掲載している「広報あいち」について、効果的な広報を行うために重要と思うことは何かを尋ねたところ、「写真やイラストを多用してわかりやすくする」が54.7%、「毎回テーマを設定してメリハリをつける」が50.7%、「専門用語をできるだけ使わないようにする」が34.3%、「懸賞などを用意して関心を高める」が29.5%、「短い簡潔な文章とする」が26.6%などとなっている。

年代別にみると、「写真やイラストを多用してわかりやすくする」と答えた人の割合は、概ね年代が下がるほど高く、また、「毎回テーマを設定してメリハリをつける」と答えた人の割合は、概ね年代が上がるほど高くなっている。

(年代別)



「写真やイラストを多用して分かりやすくする」が54.7%、毎回テーマを設定してメリハリをつける」が50.7%となっています。

広報あいちでは、生活に関わりの深いお知らせ、行催事や募集などを掲載しておりますが、毎月、重点的にお知らせしたいものについては、広報あいちの紙面2面のうち1面分をあてて取り上げております。また、読者に強く訴えるよう写真を大きく使ったり、特定の項目については枠で囲んでコーナー形式とすることで、他の掲載項目との差別化を図るなど、分かりやすい紙面作りを行うよう努めております。

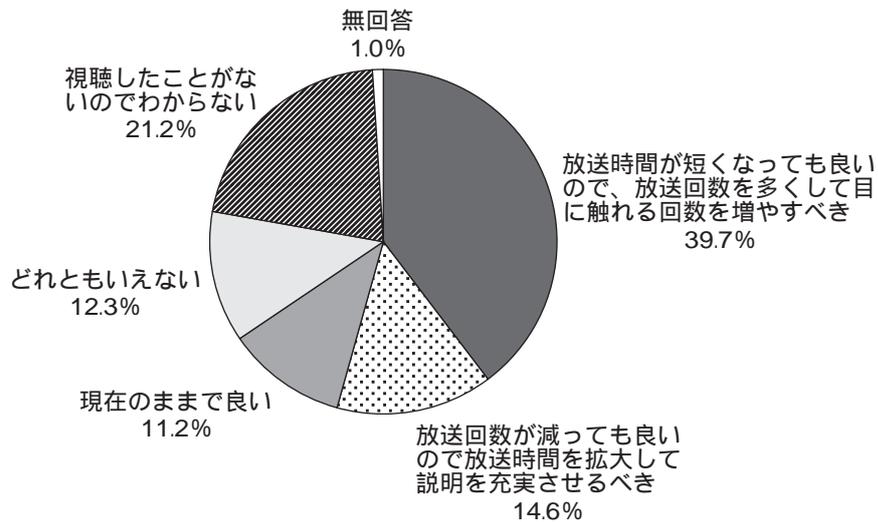
今後とも、限られた紙面の中でさまざまな工夫を行い、県民の方の県政についての理解と信頼を得るよう、一層、効果的な紙面作りに努めてまいりたいと考えております。

(知事政策局広報広聴課)

## 8 テレビ広報番組のあり方

問9 県では、現在、民放5局で、45秒から3分程度のテレビ番組をほぼ毎週1回放送しています。番組をより良くするためには、どのようにすべきと考えられますか。次の中から選んでください。(回答は1つ)

N = 481



民放5局でほぼ毎週1回放送している県の番組をより良くするためにどのようにすべきかを尋ねたところ、「放送時間が短くても良いので、放送回数を多くして目に触れる回数を増やすべき」が39.7%、「放送回数が減っても良いので放送時間を拡大して説明を充実させるべき」が14.6%、「現在のままで良い」が11.2%、などとなっている。

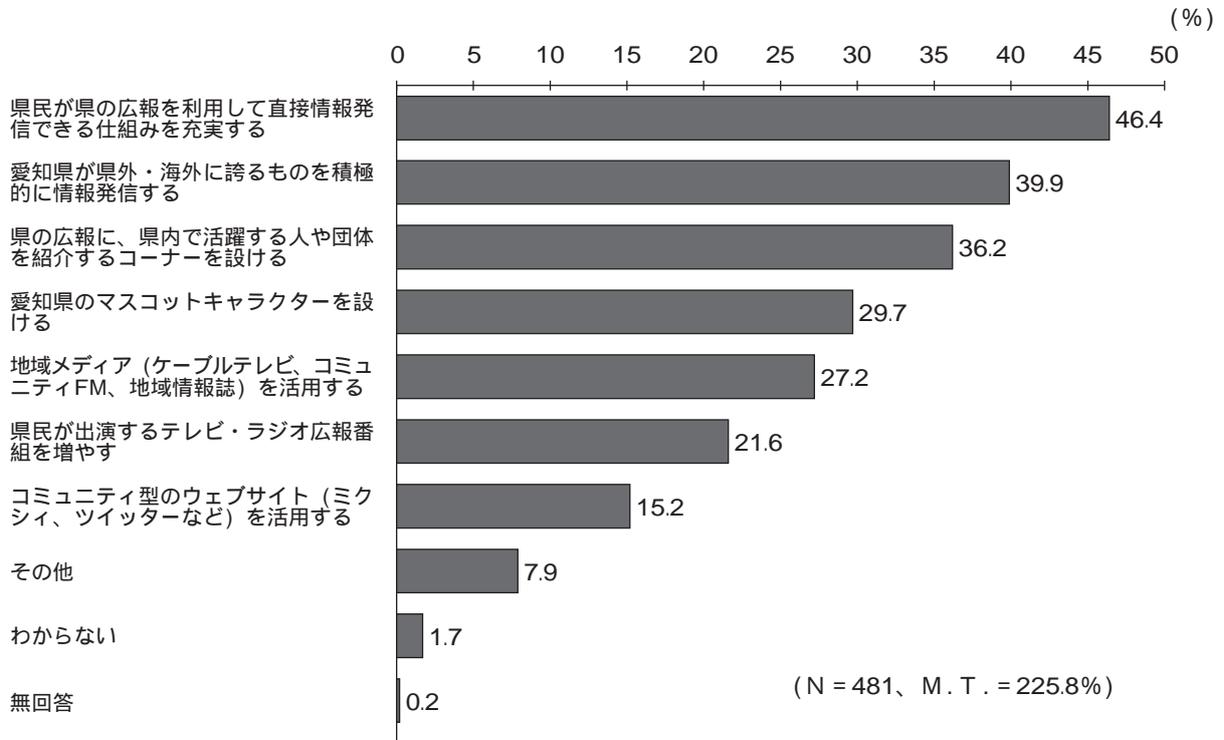
テレビ広報番組のあり方について、「放送時間が短くても良いので、放送回数を多くして目に触れる回数を増やすべき」の回答が39.7%となっています。一方で、「放送回数が減っても良いので放送時間を拡大して説明を充実させるべき」との回答も14.6%となっています。

テレビ広報番組については、番組を放送する曜日や時間帯を工夫し、また、放送した番組を二次利用してあいちインターネット情報局で動画配信するなど、県民の方が番組を視聴する機会がなるべく多くなるよう努めるとともに、番組内容の充実を図ってまいります。(あいちインターネット情報局アドレス <http://www.doga.pref.aichi.jp/>)

(知事政策局広報広聴課)

## 9 県政への親しみ、関心を喚起する広報

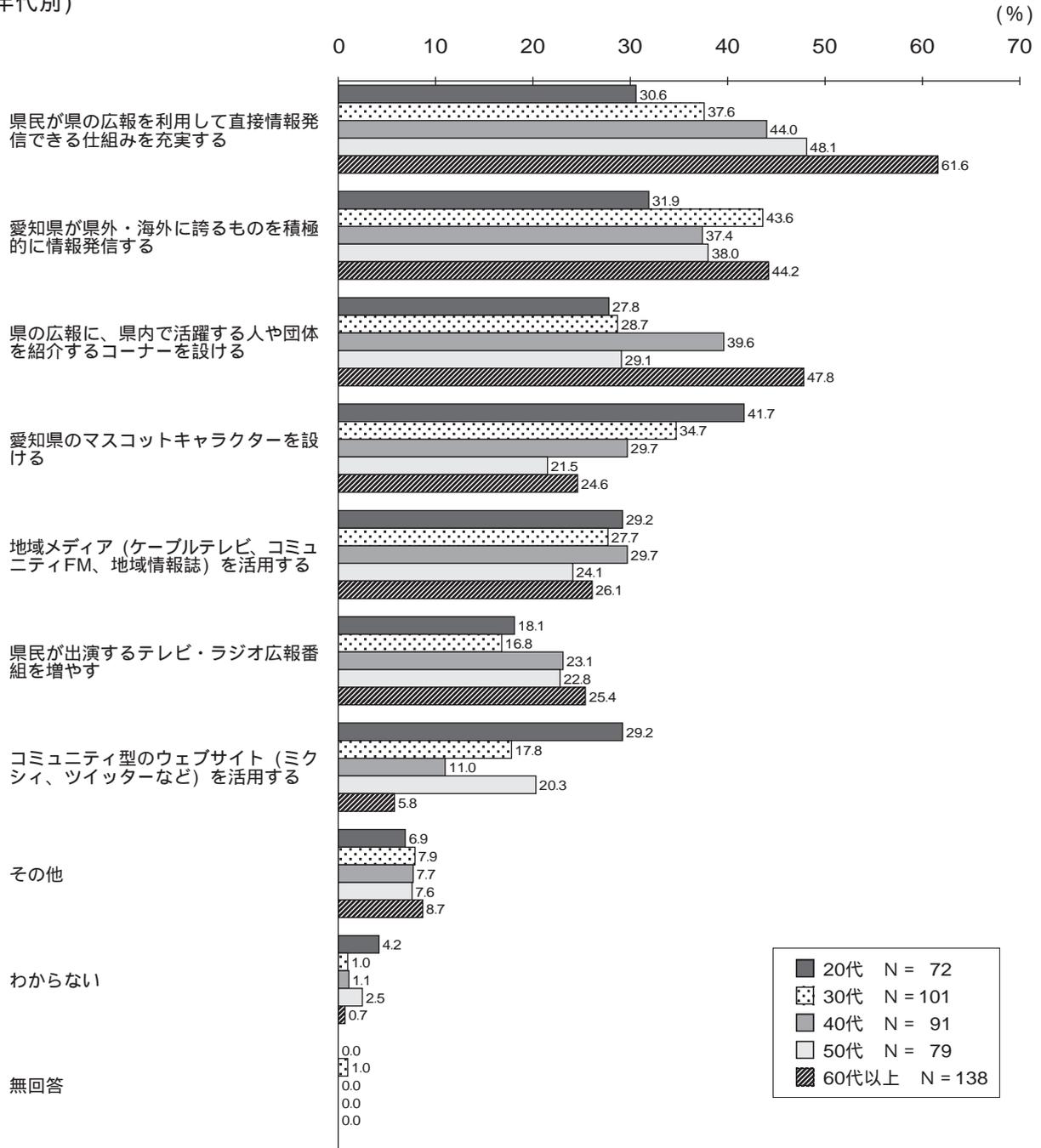
問10 県民の皆様は、県政に対する親しみや関心を一層深めてもらうための広報を検討していますが、あなたは、どのような方法がよいと思いますか。(回答は3つまで)



県政に対する親しみや関心を一層深めてもらうための広報はどのような方法がよいかを尋ねたところ、「県民が県の広報を利用して直接情報発信できる仕組みを充実する」が46.4%、「愛知県が県外・海外に誇るものを積極的に情報発信する」が39.9%、「県の広報に、県内で活躍する人や団体を紹介するコーナーを設ける」が36.2%、「愛知県のマスコットキャラクターを設ける」が29.7%、「地域メディア (ケーブルテレビ、コミュニティFM、地域情報誌) を活用する」が27.2%などとなっている。

年代別にみると、「県民が県の広報を利用して直接情報発信できる仕組みを充実する」と答えた人の割合は年代が上がるほど高くなっている。

(年代別)



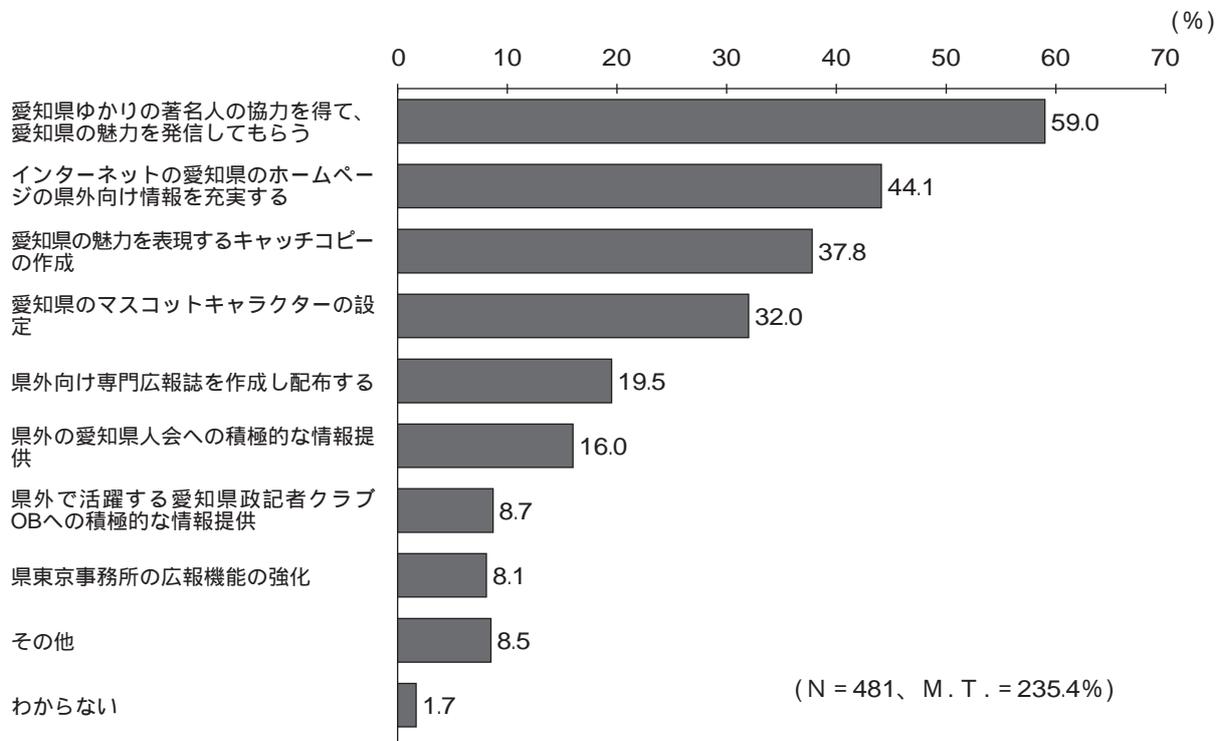
「県民が県の広報を利用して直接情報発信できる仕組みを充実する」が46.4%で1位、「愛知県が県外、海外に誇るものを積極的に情報発信する」が39.9%で2位となっています。

少子高齢化など社会が変化することにより、行政に求められるサービスの守備範囲は拡大してきました。これに対応するためには、県が効果、効率の一層の向上を図り、県の役割を的確に果たしていくことはもちろんですが、従来の行政サービスの変更や新しい施策の展開にあたっては、県の努力や工夫を県民の方に丁寧に説明して理解と協力を得ることが必要でありますので、県民の方に親しまれ、関心を引き起こす広報を行ってまいりたいと考えております。

(知事政策局広報広聴課)

## 10 県外に向けた効果的な広報

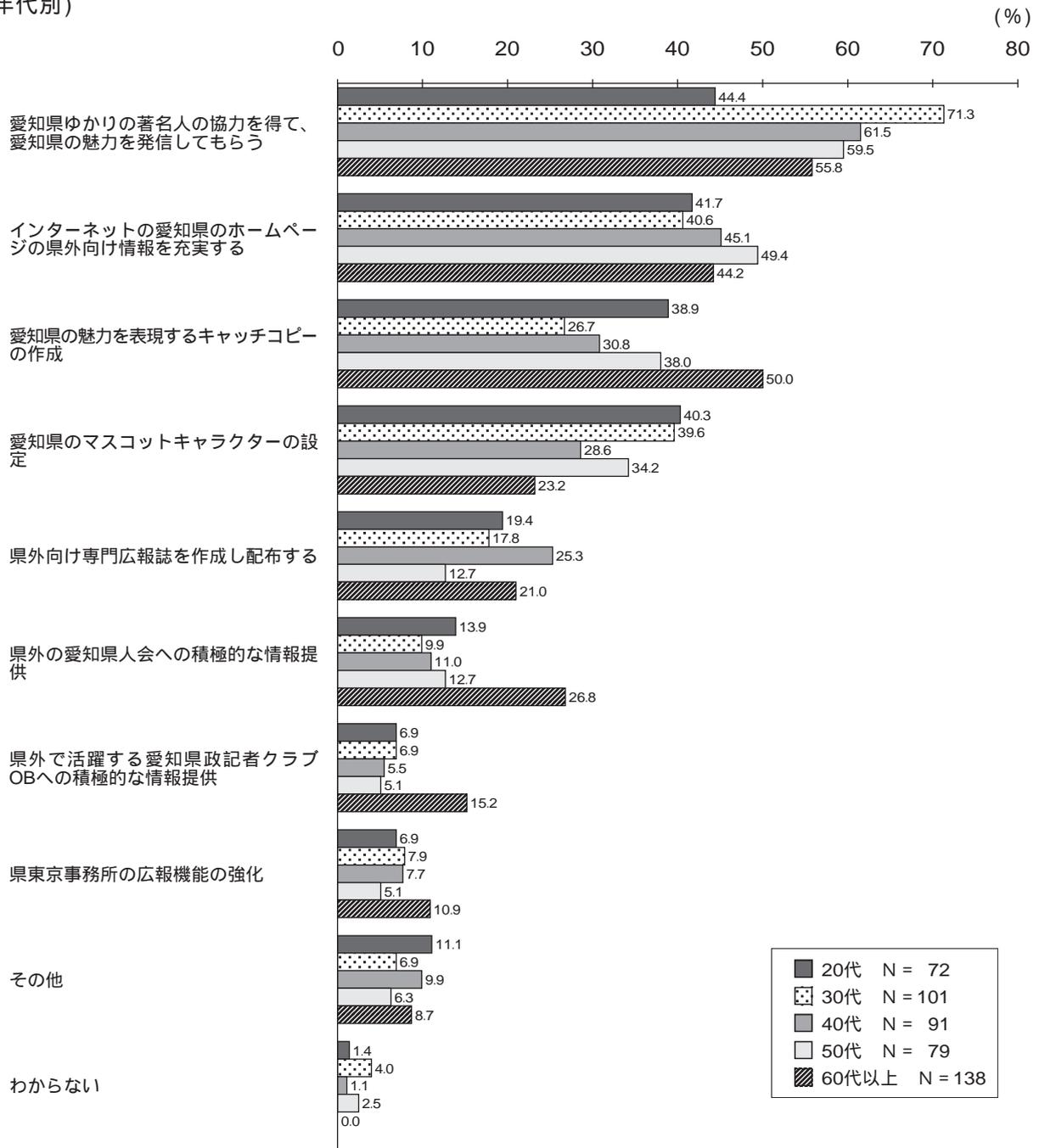
問11 観光振興や企業誘致、定住促進などを図るため、県外の方を対象に、愛知県のイメージ、好感度を高める情報発信の強化を検討しています。あなたは、県外の方への情報発信としてどのような方法が効果的と考えますか。(回答は3つまで)



愛知県のイメージ、好感度を高めるため、県外の方への情報発信としてどのような方法が効果的か尋ねたところ、「愛知県ゆかりの著名人の協力を得て、愛知県の魅力を発信してもらう」が59.0%、「インターネットの愛知県のホームページの県外向け情報を充実する」が44.1%、「愛知県の魅力を表現するキャッチコピーの作成」が37.8%、「愛知県のマスコットキャラクターの設定」が32.0%などとなっている。

年代別にみると、「愛知県ゆかりの著名人の協力を得て、愛知県の魅力を発信してもらう」と答えた人の割合は全ての年代で最も高くなっている。

(年代別)

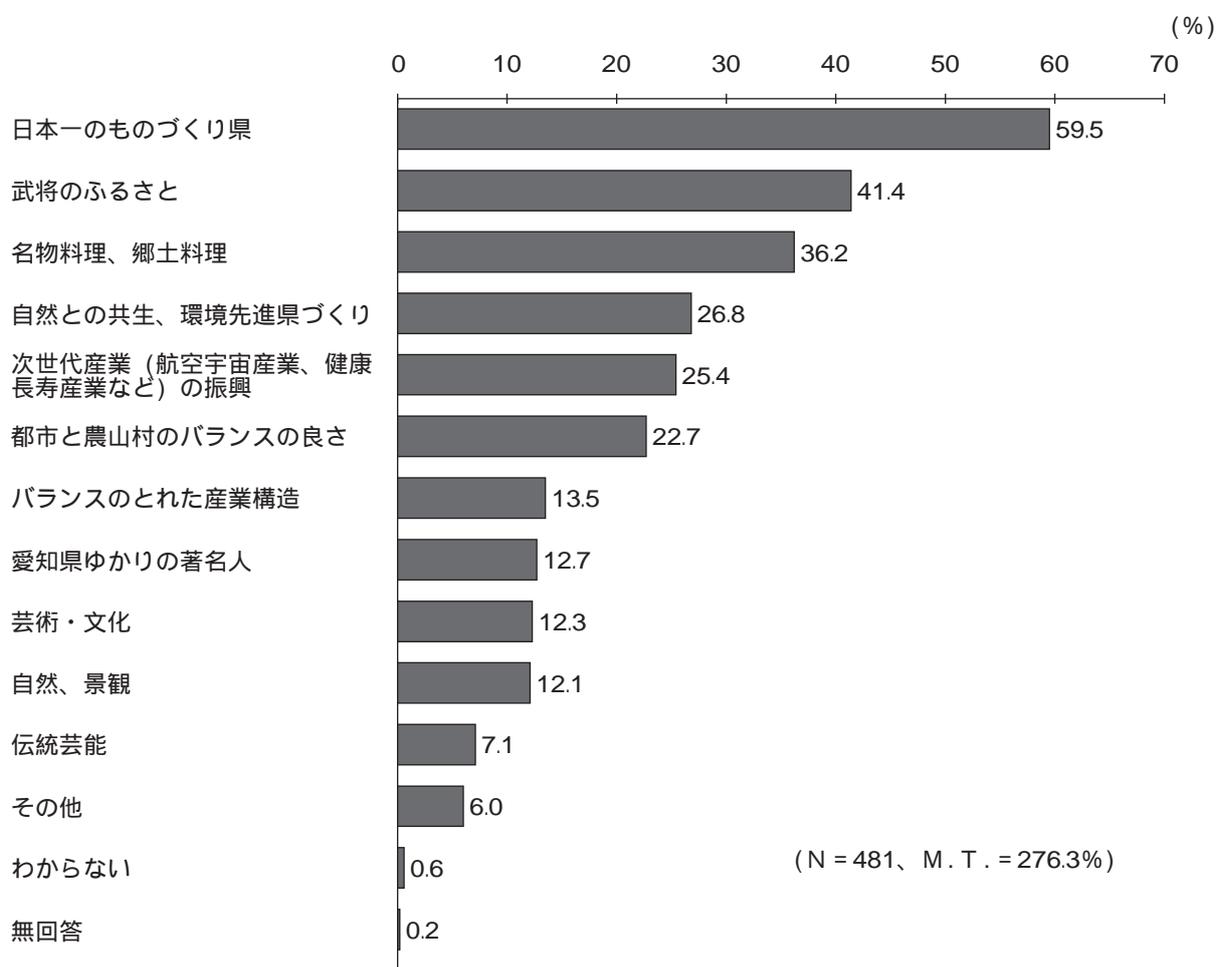


県外に向けた効果的な広報として、「愛知県ゆかりの著名人の協力を得て、愛知県の魅力を発信してもらう」が59.0%、「インターネットの愛知県のホームページの県外向け情報を充実する」が44.1%となっています。

少子高齢化社会の本格化、世界経済における新興国のさらなる躍進や地方分権の推進など、社会経済情勢が変化しており、それともなって地域間競争は激しさを増しています。こうしたなか、愛知県のさらなる発展のためには、県外に向けて愛知の魅力を積極的に情報発信して、愛知県の好感度を向上させることが必要であると考えています。

(知事政策局広報広聴課)

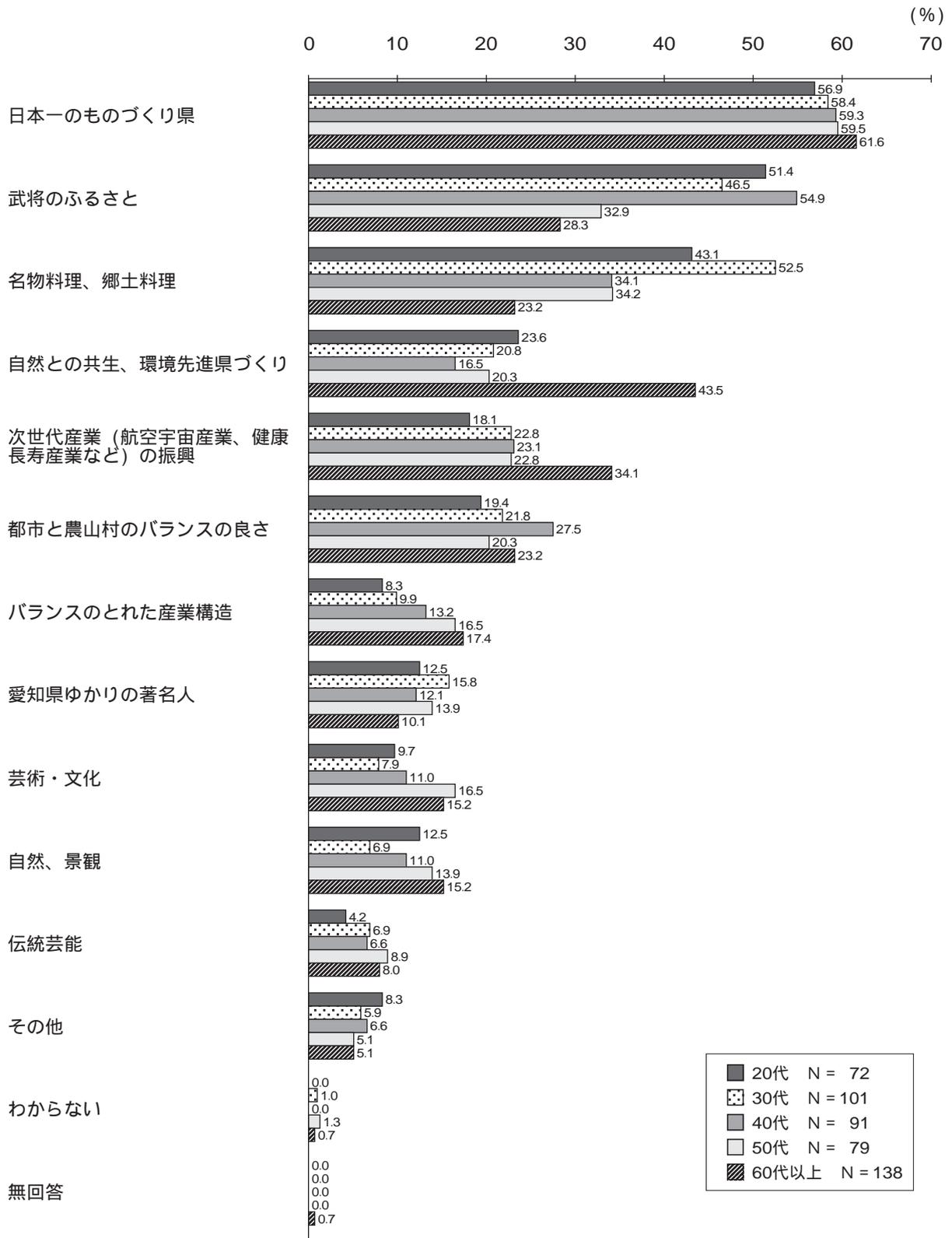
問12 あなたは、愛知県のイメージアップにつながるアピールポイントとして何が良いと思われますか。(回答は3つまで)



愛知県のイメージアップにつながるアピールポイントとして何が良いかを尋ねたところ、「日本一のものづくり県」が59.5%、「武将のふるさと」が41.4%、「名物料理、郷土料理」が36.2%、「自然との共生、環境先進県づくり」が26.8%、「次世代産業（航空宇宙産業、健康長寿産業など）の振興」が25.4%、「都市と農山村のバランスの良さ」が22.7%などとなっている。

年代別にみると、「日本一のものづくり県」と答えた人の割合は全ての年代で最も高くなっている。

(年代別)

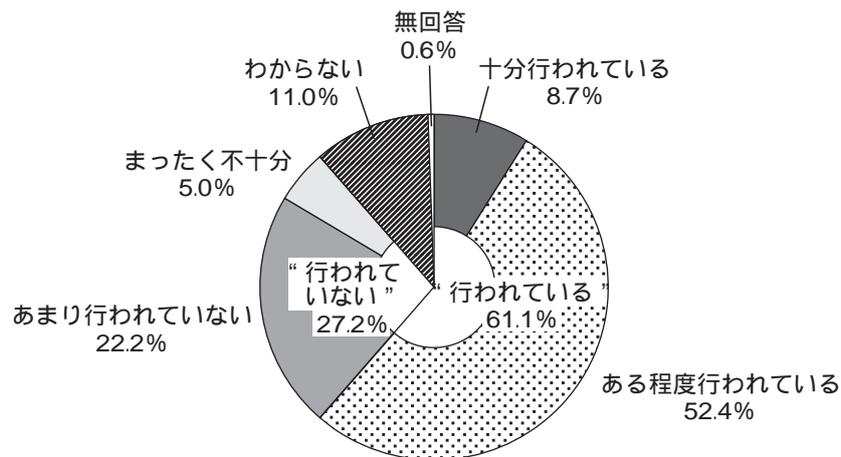


## 11 愛知県の広聴活動に対する評価

問13 県では、県民の皆様からのご意見やご要望を県政運営の参考にさせていただくため、県政モニターアンケート、県政世論調査、県政懇談会、パブリック・コメント、インターネットによる広聴など様々な広聴活動を行っています。

あなたは、こうした県の広聴について、どのように感じていますか。もっとも近いものを選んでください。(回答は1つ)

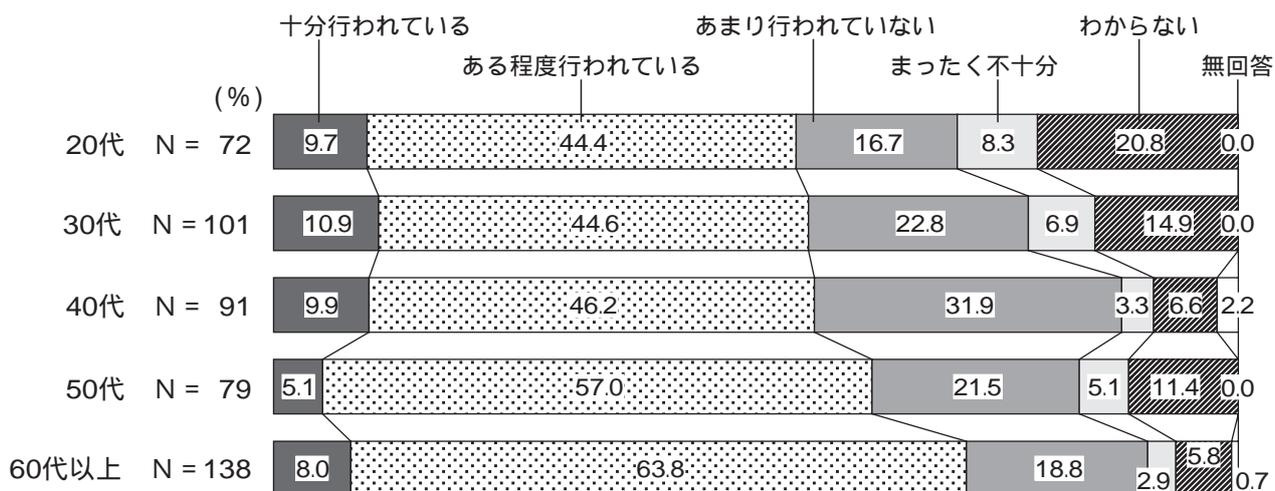
N = 481



県政モニターアンケート、県政世論調査、県政懇談会、パブリック・コメントなど、県が行っている広聴活動について尋ねたところ、「十分行われている」8.7%、「ある程度行われている」52.4%で、これらを合わせた「行われている」が61.1%に対し、「あまり行われていない」22.2%、「まったく不十分」5.0%で、これらを合わせた「行われていない」は27.2%となっている。

年代別にみると、「行われている」と答えた人の割合は年代が上がるほど高くなっている。

(年代別)

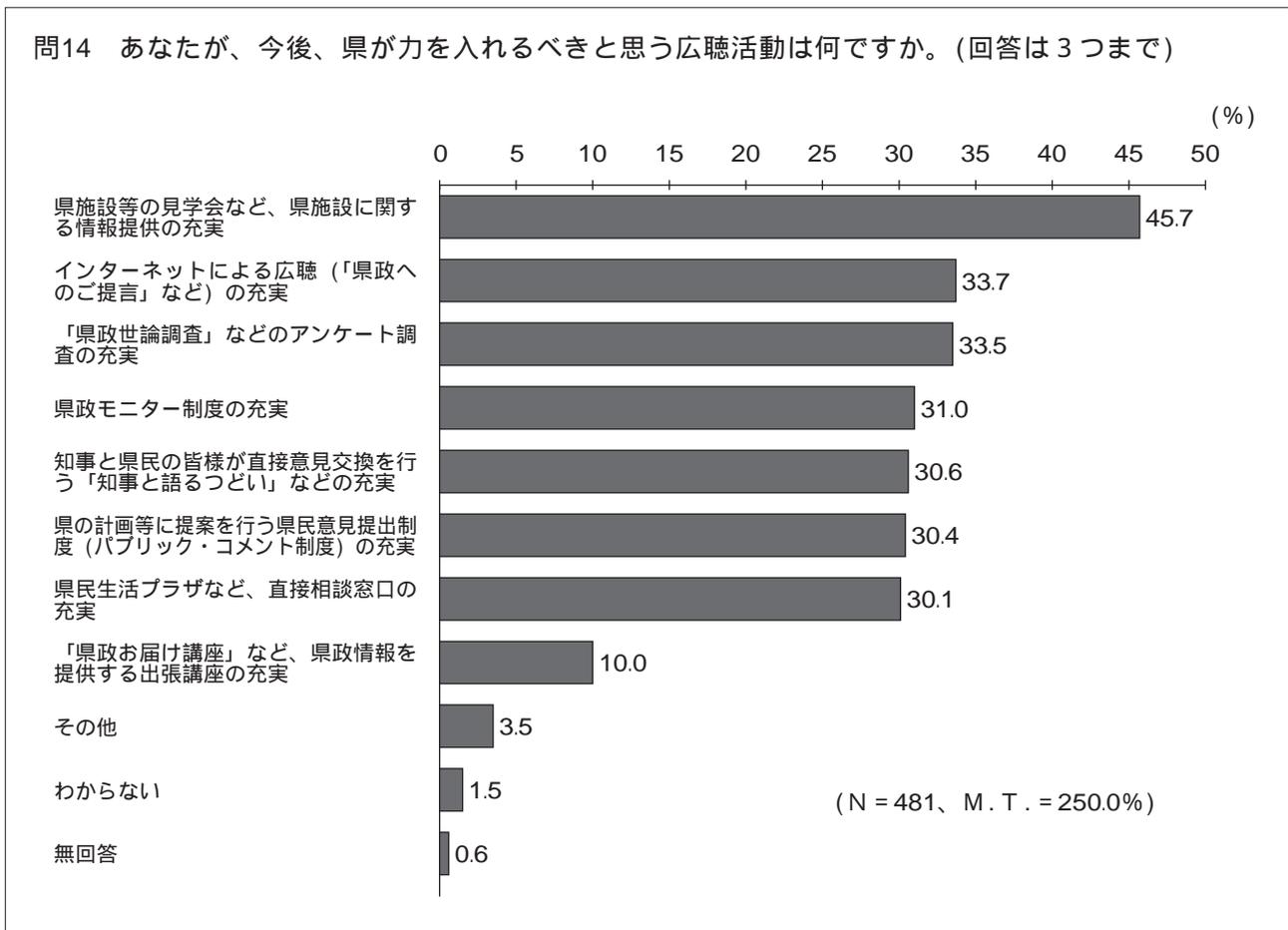


県が行っている広聴活動について尋ねたところ、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた“行われている”が61.1%の結果となり、「あまり行われていない」と「まったく不十分」を合わせた“行われていない”の27.2%を上回っていますが、“行われている”と答えた人の割合は20代では60代以上に比べて2割近く少なくなっています。

愛知県では、県民の方とのより良い関係づくりのため、様々な広聴活動を行っておりますが、今後とも、すべての年代において満足度を向上させるよう努力してまいります。

(知事政策局広報広聴課)

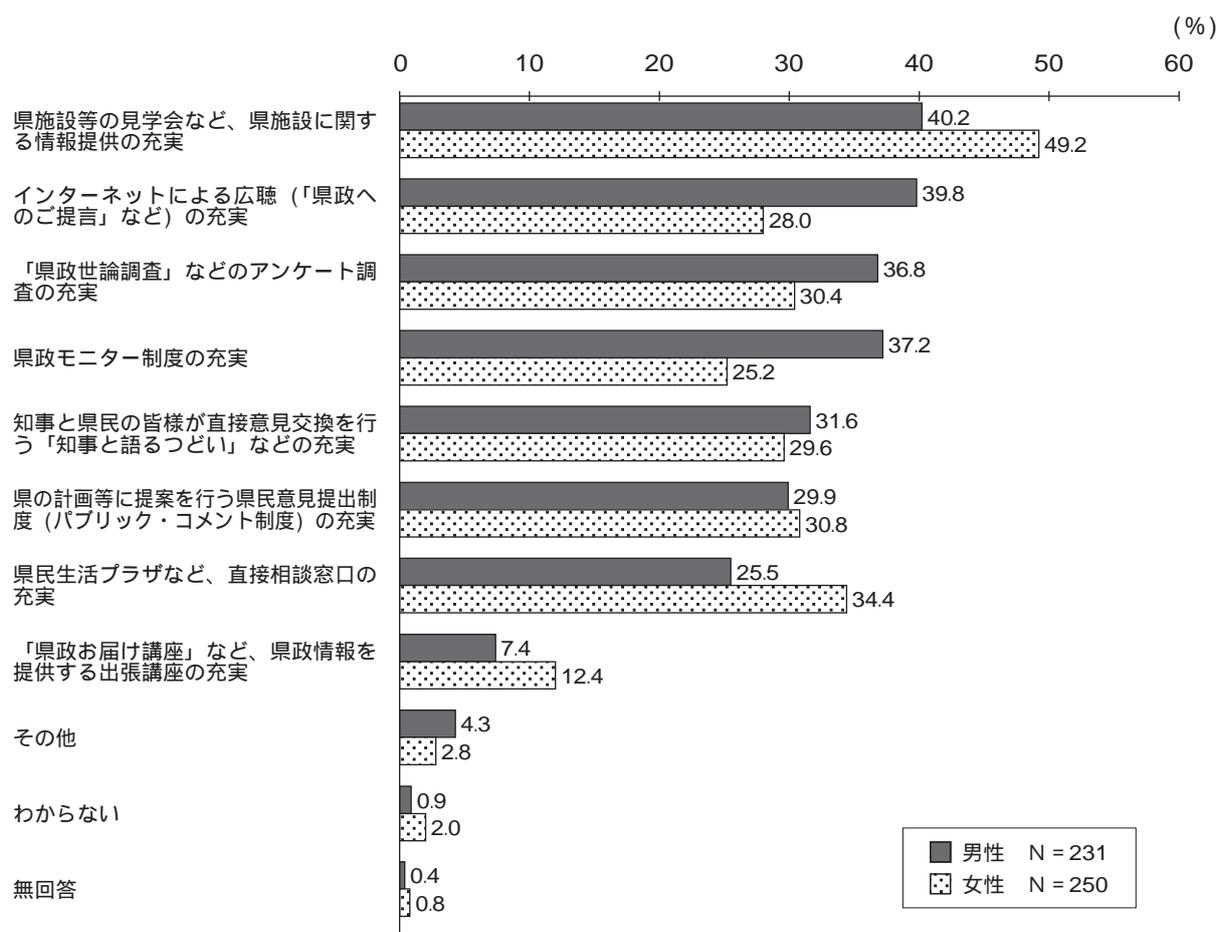
## 12 充実すべき広聴活動



今後、県が力を入れるべきと思う広聴活動は何かを尋ねたところ、「県施設等の見学会など、県施設に関する情報提供の充実」が45.7%、「インターネットによる広聴（「県政へのご提言」など）の充実」が33.7%、「「県政世論調査」などのアンケート調査の充実」が33.5%、「県政モニター制度の充実」が31.0%などとなっている。

男女別にみると、「インターネットによる広聴（「県政へのご提言」など）の充実」、「「県政世論調査」などのアンケート調査の充実」、「県政モニター制度の充実」と答えた人の割合は男性で、「県施設等の見学会など、県施設に関する情報提供の充実」、「県民生活プラザなど、直接相談窓口の充実」と答えた人の割合は女性で、それぞれ高くなっている。

(男女別)



「県施設等の見学会など、県施設に関する情報提供の充実」が45.7%、「インターネットによる広聴の充実」が33.7%、「県政世論調査などのアンケート調査の充実」が33.5%となっています。

県民の方と行政との間に信頼関係を築き、良好な関係を創り出すためには、県民の方と行政相互の「情報の共有」をいかに図るかが重要なポイントになります。

分かりやすい広報、県民の興味を喚起する広報、多様な県民の方からの意見を吸収し県政に反映させる広聴活動に今までにも増してしっかりと取り組んでまいります。

(知事政策局広報広聴課)

## 13 自由意見

問15 県の広報広聴活動についてご意見があれば、ご自由に記述してください。

県の広報広聴活動について、自由に意見を記入していただいたところ、289件の意見が寄せられた。それらを大別すると次表のとおりであり、以下、その意見の要旨をいくつか例示した。

項	目	件数
1 広報活動について	(1) 広報あいちについて	37
	(2) テレビ・ラジオについて	21
	(3) インターネットについて	9
	(4) 県政お届け講座について	11
	(5) その他	95
2 広聴活動について	(1) 知事と語るつどいについて	15
	(2) アンケート調査について	7
	(3) その他	19
3 その他		75
合	計	289

### 1 広報活動について

#### (1) 広報あいちについて

県民が県政の最新情報を得るためにも、「広報あいち」の掲載回数を増やして欲しい。

「広報あいち」は毎月、目を通している。県民が興味を持つ内容を希望する。

「広報あいち」は情報量も適当であり読みやすいが、高齢者には文字がやや小さい。楽しみにしているので読みやすさを第一にして欲しい。

「広報あいち」を読んで県内にはいろいろな行事が行われている様子がよく分かる。新城の四谷千枚田の写真を見て、一度行ってみたいと思った。

県民にとってプラスになる情報をどんどんと配信して欲しい。他県ではなく、愛知県に住んでいてよかったと思えるようにして欲しい。県民の意見をどんどん取り入れて、反映された内容を「広報あいち」に掲載して欲しい。

「広報なごや」は月1回、全戸配布されている。年に3～4回、全戸配布の広報紙を発行して欲しい。

今の時代、新聞をとっていない家庭も多いようだ。「広報なごや」のように新聞をとっていないくても配布いただければ、情報がより多くの人に行き渡りやすいと思う。「広報なごや」の一部に「県からのお知らせ」コーナーを設けるとよい。

6月6日の「広報あいち」を今まで以上にしっかりと読んだ。自然と環境を大切にする愛知県にして欲しい。

「広報あいち」を主要駅のラックに置いて欲しい。

「広報あいち」に愛知県に関するクイズ等を掲載し、プレゼント（懸賞等）を用意して県民の関心を高めるとよい。

「広報あいち」の紙面の拡大は素晴らしいことである。選択と集中がこれからの広報の有り方だと思う。

市の広報は月1回、紙で配布されており、目を通してはいる。一方、「広報あいち」は一読するが、内容が身近でないため、なじみが薄い。

広報活動としては「広報あいち」が一番なので、レイアウトを工夫するなどして、見たいなあと意欲をそそるような内容にして欲しい。

「広報あいち」はかなり見にくい。少しカラーを入れるとか、見出しを見やすくするなどの工夫がいると思う。

定年後、時間が自由になり、新聞の「広報あいち」をくまなく読んでも、関心、興味の対象となる項目は一つもない。同年代の人たちはどうなんだろうか。国政、社会の動きには人一倍関心があるのに。

新聞では見逃してしまうことが多いので「広報なごや」のように長く保存できるとよいのではないか。

市の広報のように、単独の紙面を発行して、県民の利用できるサービスを更新して掲載して欲しい。

広報あいち5月号の「おもてなし」の表現は、一部マスコミで使われている言葉のように感じた。「もてなす」の言葉はあるが…… 6月号の食育は「県」の広報として最適だろうか。大切な事は勿論ですが、市町村単位の広報活動が効果的のように感じた。

テレビ、ラジオ、インターネットよりも、好きな時にじっくり読める新聞の方が便利だと感じることもあるので、「広報あいち」をもっと充実させて欲しい。場合によっては見開き2面と言わず、もっと増えてもよいと思う。

「広報あいち」について。それぞれの項目についてHPアドレスを記載しているのは大変結構だ。ただ、各項目をただ載せているだけという感じがする。各項目は何を訴えようとしているのかが分かりにくい。

「広報あいち」を、月2回に増やすことは出来ないか。内容は県民に直接関わる事項なら関心を持って読むようになると思われる。暮らしの安全・安心に関する事等。県政の問題点の報道も詳細でわかりやすくあるとよい。県議会だよりは、議長副議長委員会のメンバー表は県民には直接関係がなさそう。それよりも議会一般質問の答弁の具体的内容が欲しい。

## (2) テレビ・ラジオについて

学校紹介を毎週テレビで行って欲しい。

高い予算でテレビ番組を放送してもほとんどの人が見ていない。ニュースを見ない人はいないので、別枠としてではなく朝夕のニュース番組の中に入れて放送するなら見る人も増えるのではないか。

テレビ・ラジオの広報広聴活動は、放送時間の関係から視聴者が限られてしまい、あまり有効な手段ではないと思う。むしろ、マスコミ各社に対する情報提供などにより、マスコミが自主的に県政についてもっと積極的に取り上げるようになれば、広報番組が不要となり、コスト削減にもつながって一石二鳥ではないかと思う。

テレビの広報番組はたまに見るが、放送時間は変えずに、放送回数を2～3回増やしたほうが多数の人が見ることができると思う。週1回だと知らない人もいるのではないか。

テレビ・ラジオの放送はナレーションがゆっくりで分かりやすいが、時間が短すぎて気がつくと思いのがし、聞き逃しがある。せめて5分間くらいにして欲しい。

ドラマや子ども向けアニメなど連続性のあるテレビ番組は録画して時間に余裕のある時に観るので、番組の間に愛知県の広報を入れてはどうか。視聴層に合わせた報告やお知らせ、宣伝等を放送したらどうか。

テレビ番組について、放送時間3分は短いと思う。昼の1時くらいと、今は仕事をしている人も多いので、夜の9時くらいに20分間程度、週1日2回放送してはどうか。

広報・広聴活動のベースはテレビにして、専用チャンネルを設け、そこから全情報を流す・聞く、を提案したい。この専用チャンネル方式は愛知県単独でやるのではなく、市町村と連携し、NHK・民報と協力し、住民が何時でも見たいところを自由に見ることができるようにはどうか。

テレビの県広報番組を見たが、中途半端な時間帯にあり、CMに紛れて印象が薄いと感じた。

愛知県がテレビで広報活動を行っていることを知らなかった。予算などで難しいかもしれないが、もう少し視聴者が多い時間帯に放送したほうがよい。

県広報テレビで手話が付いているが、人生の途中で聴力を失った方は手話を獲得することが困難な場合が多い。手話と共に字幕を付けるとよい。

テレビ広報番組について、短い番組の前後がボリュームの大きいコマーシャルに挟まれていて目立たない。番組の始めにメインタイトルと音楽を流す際、「愛知県からのお知らせです」とか「この番組は愛知県の提供です」とナレーターの言葉で言って視聴者に注目させるとよい。

6月12日放送の「あいち県政ファイル」では、施設の紹介がナレーターとBGMだけだったが、現場での作業音や施設を見学する子供達の楽しそうな声も流した方が臨場感があってよいと思う。

また、施設の紹介を職員がしていたが、本を読む様で興味が湧かなかった。最近のNHKの様に、放送を面白くする必要がある。

広報番組の充実と時間帯の考慮が必要だ。その時間帯にチャンネルをあわせていて偶々見る、という人が多いのではないか。意識をもって見たいという内容やお知らせが欲しい。

自分はテレビは見ないので、テレビについてはよくわからないが、もっとラジオでの広報活動の強化を望む。トラックの運転手の人など、県内外の様々な人が仕事に車や会社で聞いている。もっとラジオから情報発信をして欲しい。

テレビ広報番組は週1回の放送では見逃してしまうこともある。テレビの影響力は多大である。放送回数や時間帯をさらに改善し、より多くの人目に留まる番組にしていくと、県政や愛知県のPRにつながると思う。

### (3) インターネットについて

「Ai県Webマガジン」と「インターネット情報局」は動画があり、とても分かりやすく県政を知ることができた。インターネットを使うことができない人もいたので市役所等で流すといいと思った。

インターネットはさらに進化していくと思う。特に若い人はよく情報源として活用している。広聴活動も今よりもインターネットに力を入れて、若者により多く愛知県の現状を理解してもらいたい。

幅広い世代層に対して県政を理解してもらうためには、新聞、テレビ等の旧来メディアはもちろんのこと、インターネットを始めとした新しいメディアを使いより一層積極的な広報広聴活動が必要だ。

情報発信は重要であるが、最近とはかく手軽で安価なインターネットに頼る傾向があり、個人的には危惧している。インターネットは情報ツールの一手段に過ぎず、利用できない人も多数いることを忘れないで欲しい。少なくとも、ミクシィやツイッターは利用しないで欲しい。様々なツールをフルに活用し、一人でも多くの人に情報を届け、その声に耳を傾ける姿勢を期待している。

ツイッターとWebサイトを連動させて効率的な情報発信をするべきだと思う。また、知事個人にもツイッターを利用して頂きたい。それと同時にアナログの広報誌を多くの県民に渡るようにバラまいて頂きたい。この手の情報は、出来るだけ多くの目に入る事が必要だと思う。

愛知県が提供しているテレビ番組を、愛知県のホームページで動画によりいつでも見るようにして欲しい。

### (4) 県政お届け講座について

「県政お届け講座」のテーマが147項目あることを知らなかった。皆で学ぶ機会が持てるので、このような講座があることをもっと多くの県民に伝えて欲しい。

「県政お届け講座」というものがあることを今回、初めて知った。その気になって注意をしていないと情報は入ってこないと思った。広報活動ももっと声高にアピールしていくとよいと思った。

県民一人ひとりが自覚することももっと必要だと思う。

県施設の見学会を行い、その後、「県政お届け講座」で勉強ができるとよいと思う。

「県政お届け講座」があるという話は聞いていたが、今回の冊子を見て、想像以上に講座数があり、充実しているのでそのうちに利用させてもらおうと思った。

「県政お届け講座」にとっても興味がある。仲間を集めてグループを作り、計画を立てて申し込みたいと思う。

県民一人ひとりが県政に関心を持って意見交換ができるように、「県政お届け講座」などを地域で活用していきたい。

「県政お届け講座」について、折角面白そうな内容が数多く用意されているのに、個人では情報を知ることができない。インターネット上の動画等で実施内容を公開されてはいいかがか。紙面で文章を読むよりも、職員の方が目に見える形で県政の事業を解説された方が、県民としても興味を持ちやすいと思う。

「県政お届け講座」に関しては、約20名以上の動員を要することを含め、かなり限定された団体、職場、グループによる招致、開催になるような印象を受ける。講座内容は多岐に亘り、いずれかにおいて県民の関心事があるとは思われるので、今後の広報活動において、是非この活動状況を広報してほしい。また、講座において配布予定の資料等を閲覧又は入手できるようになれば、より広範に、知識、情報を提供できるのではと思う。

## (5) その他

社会的に弱い立場にある人、問題を抱えている人は、日々の生活をやり過ごすだけで精一杯で、「助けて」と声をあげる余裕がないことが多い。おなじような問題を抱えている人が集まって問題点などを整理して助けを求められるように自助グループの情報を広報してほしい。

県の広報を見るとき、家族で参加できるイベントなどはついつい目を引く。このようなイベントを掲載することで、県の広報を見る人が増え、愛知県に興味を持つようになると思う。

大事なところは伝えられていると思うので、今のままで十分よいと思う。

愛知県民として他県、他国にアピールできる点が具体的にピンとこない。愛知県にしかない誇れる県民全員がかかわることのできる何かがあるとよい。また、県政についても、情報不足の感は否めず、ホームページ以外の紙媒体でもいつでも身近に細かく情報を得られる方法が欲しい。

新聞で県の活動を知ることが一番多い。もう少しマスコミの協力を得て、県の活動、県知事の活動を取り上げてもらうべき。

日本中が改革の嵐が吹いている中で、県庁からのそれに関する情報発信はゼロに等しい。改革すべき事、実施中の事等、もっと発信してほしい。

若者の情報収集はパソコンや携帯電話からで、新聞購読は減っていると思う。但し、市の広報紙は生活に密着している。この市の広報紙との連携にウェイトを置くべきである。

県民は知りたい問題を多く抱えている。広報にQ & Aの項目を設け、その内容も県民が納得できる中身とすることで、透明性のある愛知県を目指して欲しい。

知事がマスコミによく出る県があるが、すべてがよいとは思わないが県の特産物（品）の売り込み等には効果があると思う。地方版のニュース等に気楽に出演して、県政を訴えていくのも一つの方法かも知れない。

COP10開催に向けて、もっと広報活動を活発にして欲しい。

町が発行している広報紙は気になるが、県になると自分には無縁に感じられる。多くの人に県の広報活動を知ってもらうことが大切だ。

自分は図書館等のパンフレット置き場が主な情報収集の場だ。子育て世代向け、就職希望向け、介護している人向け等、まとめた1冊があると助かる。見本を置いて、100円くらいでの販売でもよいと思う。

今回のアンケートをするまで、愛知県の広報活動がこれほどあるとは知らなかった。Webマガジンや動画サイトなど、多くの人に認知してもらえる工夫があるとよいと思う。一方で、不用な媒体は廃止するなど、見直してはどうか。

関心を持ってもらわないとインターネットも見ないと思うので、人の集まる場所でイベントをして、多数の人から意見を聞いたり、県の特産品のパッケージなどでPRをすれば、より多くの人に知ってもらえるのではないか。

県政は市町村に比べると、身近でないため関心があまりない人が多い。アクセスしてみなければならぬインターネット等の情報発信では目にする人が限られるため、新聞等、多くの人が目にする媒体での積極的な情報発信が望ましい。

子どもの頃から、県政に触れさせる事、実感させる事が大事だ。PTA新聞のように学校において学期に1部程度発行してはどうか。親も読むと思う。また、回覧板を活用してはどうか。

県の広報は十分に情報提供をしていると思うが、内容が難しくて分かり難い。県民全てに分かりやすい言葉を使ったり、イラストを増やすなどして工夫するとよいと思う。

TVやインターネットを利用し、わかりやすい文章で子どもから高齢者まで誰でも理解ができて、興味を引く内容の広報活動を望む。

愛知県は魅力的で住みやすい地域であるが、飛び抜けたものが少ない。他県や外国へ向けての広報の充実と映画、ドラマ等を活用してイメージ戦略を広げて欲しい。

若い世代でも分かりやすく、興味を持てるような内容のものを作って欲しい。今、スローライフを求めて若者たちが田舎で生活を送るのが流行しているとTVで見たことがあり、近所でもそのような人がいるので県外からもそういう事に興味がある人たちを呼び込むような広報活動をして田舎を活性化させて欲しい。

愛知県の広報は少し片寄っていると思う。もっとバラエティに富んだ広報活動をして欲しい。

何時の時代にも情報格差はある。無関心層に情報発信することは不可能だ。ITの時代であるので興味のある人はインターネットで調べることができる。今のままでよいのではないか。

広報活動というのは、情報の受け手が年齢・性別・価値観などが多種多様であり、どのような方法

がベストであると断じ難いと思う。限られたメディアに頼ることなく、いろいろな手段を利用して伝えようと努力することが大切だ。

広報広聴活動は十分行われていると思うが、たとえ広報誌を全戸配布したとしても関心のない人は読まずに捨ててしまう。関心のない人にも情報を届けたり（特に防災・防犯関連）、関心そのものを持ってもらうためには、まだテレビ・ラジオ・新聞などのメディアが必要であるし、親しみやすく情報を発信していくことも必要。いずれは高齢者のほとんどがインターネットや携帯電話を使って情報にアクセスできる世の中になると思うが、それに備えたネット配信等の充実を一層図っていくとよいと思う。

観光名所をもっとPRして魅力を知ってもらいたい。ファミリーで楽しめるところ、カップルで楽しめるところといったようにわけて紹介して欲しい。

県民に判り易いオープンで、地域によってばらつきのない広報を望む。無駄で変なキャラクターやキャッチコピーをプロに頼んで無駄遣いしないで欲しい。例えば、公立学校生徒に作品提出を促すなど、一般公募により、低予算で県民の注意を引くようにするとよい。また、面白県民の人物紹介リレーとして毎回次の人を紹介し、地域の紹介、特産紹介などをしてはどうか。テレビ番組は堅すぎて面白くない。子供も興味を持てるようなものがあるとよいと思う。

若い人は特に、興味あるものしか参加しないと思うので、若者に興味を持ってもらいやすいような広報を望む。若者の口コミは早くて確実だ。若者を巻き込む努力をした方がよいと思う。

愛知県民全体が秋にCOP10&MOP5が名古屋で開催されることを知って欲しい。まだまだ知らない人が多い。どれだけの人に伝わるのか。広報活動のチャンスかと思う。

名古屋市のお知らせや情報は頻繁に目にするし、HPもわかりやすく充実していると思うが、愛知県の情報はなかなか目にする事が出来ない。また、HPも情報を探しにくく充実しているとは言い難いと思う。実際に直接県とのやりとりは少ないかもしれないが、郷土愛が持てるようなHPや、広報番組の充実を望む。

テレビ・ラジオの広報は、ほとんど効果は無いと思う。その割にコストが高いと思われるので、縮小の方向で考えてもよいと思う。たまに目にしても後に全く残らない。新聞の方がPR効果は大きいと思う。これからはネットも大きいと思う。HPももう少し見やすくして欲しい。

自ら動かなくても自然に目に触れる方法から、人々の関心を集めていくことが重要と思う。その意味で、新聞広告を、一回あたりのページを増やすのではなく、こまめに回数を多くする、テレビ・ラジオのスポット広告を頻繁にする、などが効果的と思う。

広報活動にまったく力が入っていない。情報が少なく、触れる機会も少ない。現時点では、情報が欲しいと考えている人にしか、伝わらないように感じる。もっと多くの人に対して積極的に情報提供に努めた方がよいと思う。

トヨタ自動車、フィギュアスケート、中日ドラゴンズなど目立つものはあるが、今一步日本の中心となるようなインパクトがない。愛知県の個性を他都道府県に発信して存在感を示していけるような広報活動を行って欲しい。

情報が国からなのか県からなのか、名古屋市からなのか、区別がつかない。住んでいる市の情報

は毎月配布される広報で確認できるが、県として、広報で何を一番に県民にお知らせをしたいのか知りたい。

## 2 広聴活動について

### (1) 知事と語るつどいについて

「知事と語るつどい」はとてもよい企画だと思う。知事とお話できる機会はなかなかないし、県民の意見を元により良い県政を行って欲しい。名古屋市内でもぜひ、開催して欲しい。今回は会場が少々遠いので参加できない。

知事が県民と直接対話する機会をもう少し増やしていただけるとよい。また、土曜、休日等の開催も忙しいとは思いますが検討してはどうか。

「知事と語るつどい」の募集人員について、発言参加者数10名はよいと思うが、傍聴参加者数は100～200名程に増やすことができないだろうか。「つどい」に参加して「聞きたい」、「言いたい」事があった人は投稿すると思うので、広く意見が聞くことができると思う。

「知事と語るつどい」について、県内各市町村を巡回してもらい、幅広く県民の声に耳を傾けて欲しい。

「知事と県民の直接話し合える場、ふれあえる場を設定して欲しい。超多忙とは思いますが、県民の生の声を聴いて欲しい。

「知事と語るつどい」に参加したいと思っても開催場所が遠い。近いところでも開催して欲しい。県政のトップである神田知事の「知事と語るつどい」は極めて有効であると思う。

「知事と語るつどい」の定員枠を増やして欲しい。多人数参加できたらよいと思う。知事と直接意見交換できる場を月に1度は設けるべきである。

「知事と語るつどい」は今回はテーマが違うので参加をやめた。事前にテーマを募集してからのほうがよいと思う。

### (2) アンケート調査について

アンケートはインターネットを活用して欲しい。参加者は限定されるが、情報量、コスト等の点でメリットがあると思う。

より多くの県民の意見を取り入れ、反映する効果的な活動として、モニターアンケートはよい。よい多くの意見を反映し、魅力的な県になって欲しい。

アンケート調査等の結果、どの様にそれが生かされ、効果があったのかを知りたい。

### (3) その他

より多くの機会を設け、県民に温かく、県民の目線から声を聴き続けて欲しい。

弱者の意見も届くようなシステムの構築が必要だと思う。

県民が県政への関心を高めるためにもパブリック・コメント制度の充実を望む。

可能な限り、広く県民の意見・要望を取り上げていくことはとても大切なことだと思う。

葉書・電話・窓口で、意見や要望を直接受け付けて回答を行うシステムを望む。民間では苦情は大切に、新商品開発で成功している企業もある。これを見習うべきだ。

県民の意見に対する広聴は一問一答式ではなく、常に双方向的で県民の意見と行政の意見を摺り合わせながら県民の声を行政に反映させる意見聴取の機会が必要だと思う。

### 3 その他

「安心、希望、そして風格ある愛知へ」めざす基本課題の主要施策を始めるには広報広聴活動が重要になってくると思うので、より分かりやすくお願いしたい。

県の広報広聴活動について、特に不足はない様に思う。

一目で愛知県だと分かる親しみやすいマスコットキャラクターを作って欲しい。どのような講座が開講しているか。どのように講座をやっているのか。生の体験談をふまえて案内して欲しい。

TVなどメディアでは名古屋市長ばかり目立ち、名古屋の情報ばかり目にする。県は何をしているのか分からない。また、市の情報は月2回の広報紙でわかるが、新聞をとっていないので県の情報は分からない。

大切な税金をどのように使い、どの様に県民に貢献しているか詳しく、分かりやすく報告すべき。また、これに対する県民からの意見を広く聴き、行政に反映して欲しい。

県中心部における広報広聴活動だけでなく、地域にも出向いて積極的に広報広聴活動を行って欲しい。そのために、県民事務所等がもっと県民に開かれ、ここを中心とし充実させていって欲しい。

田舎にいるため、都市部で行われていることがあまり伝わってきていないと感じる。自分からも県政について目を向けていく努力をしていきたい。

県政モニター制度や各種の広報広聴活動が県政に反映されているという実感が全くない。民意を反映している県政運営を行っているというアピールも必要だ。キャラクターや著名人だよりの広報は税金の無駄遣いであり不必要だ。

発信力、行動力を常に持ち、まず、隣県（静岡、三重、岐阜）の代表となるよう、がんばっている姿を見せ、表現することが大切だ。

広報は関心のある人は読むが、関心の無い人は一切読まない。であるから、莫大な予算を投入して広報活動を行うよりも、県政モニターのような関心のある人を一人でも多く集めて広報するのがよい。

県で作っている広報誌の紙質はもっと悪くてもよいのではないか。そんなに見栄えにこだわらなくてもよい。

県のパンフレット類は硬い感じでとっつきにくさがあるように思う。イラストのセンスが古い。また、手に入れられる場所が限られているように思うので、駅などにも置いてもらえると嬉しい。

余暇学習施設等の利用案内に関わる広報物として、立派なリーフレット・パンフレットが作成されているが、置かれている場所が県事務所及び市町村等行政関連施設で限定的、広く県民に知らせる手法が取られていない様に思われる。設置配布場所を鉄道駅や集客効果のある民間施設に拡大する必要がある。また広報物はそれぞれ施設を所管する部局ごとに縦割りで作成され、施設間の有機的ネットワーク活用を阻害する要因になっており総合的広報が必要である。

サラリーマンで、各地に行くが、愛知県（名古屋・豊田）は注目されていて、景気はどうか、どんな土地かなど、結構注目を集めていると思う。東京・大阪は別にしても宮崎には負けてられない。三重県が北川さん時代にシャープを誘致したように名古屋ではなく、愛知県として積極的に売り込みができればよいと思う。

愛知県の持つ「自然」は、東京・大阪などにはない魅力であり、特に自然と文明の調和がアピールポイントとなる。特に企業にとって「環境対策」が大きなテーマであり、「愛知県にある企業は環境に力を入れている」と思われるような企業誘致のアピールが必要だ。広報・広聴については、中高年などに偏らぬようにターゲットを絞って、メディアを利用して発信していく必要がある。特に若者は広報のターゲットとして考えるべき。たとえば、愛知県のキャラクター、愛知県の生んだ戦国武将がツイッターで発言するなど。

田舎にいと、県の動きがあまりわからないことがある。都会のようにどこに行っても情報に溢れているわけではないので、家に来るものが主な情報源になる。常にアンテナを張っていないと情報が入ってこないのも事実だ。もっと身近に、もっと末端まで届く工夫が欲しい。難しい言葉が使われると、誰でも聞きたくなくなる。今回のアンケートもそのような感じもあった。知らない人・興味の無い人がどれだけ興味の沸くように発信していくかも大きな課題なのかと思う。県で中枢で行っている言葉や人の言うことは大変難しいというイメージがある。頭のよい人しか意見が言えないイメージもある。

## 質問と回答 (単位...「総数」：人、「総数」以外：%、四捨五入により合計は必ずしも100%にならない)

### 1 情報の入手方法

問1 あなたは日常生活の中で、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなど、どのような媒体から情報を得ることが多いですか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 新聞	86.3	89.6	83.2	86.7	88.3	83.4	63.9	79.2	91.2	91.1	97.1
2 テレビ	85.2	83.5	86.8	85.3	82.8	88.1	80.6	85.1	87.9	82.3	87.7
3 ラジオ	19.5	19.9	19.2	20.0	20.0	18.5	19.4	17.8	13.2	20.3	24.6
4 インターネット	57.4	62.3	52.8	54.7	57.8	59.6	83.3	68.3	72.5	48.1	31.2
5 雑誌・刊行物・チラシ	22.0	19.5	24.4	23.3	23.9	18.5	18.1	22.8	19.8	20.3	26.1
6 交通広告(駅構内のポスター、電車内の中吊り広告など)	4.0	4.8	3.2	4.7	3.9	3.3	4.2	3.0	3.3	3.8	5.1
7 ダイレクトメール	1.7	0.9	2.4	2.7	1.1	1.3	2.8	2.0	1.1	2.5	0.7
8 地域の回覧板	8.1	5.6	10.4	7.3	7.8	9.3	5.6	3.0	4.4	6.3	16.7
9 友人などからのクチコミ	8.1	3.9	12.0	12.0	6.1	6.6	9.7	13.9	3.3	7.6	6.5
10 その他	0.8	1.3	0.4	0.0	1.1	1.3	1.4	0.0	0.0	1.3	1.4
無回答	0.2	0.4	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0

## 2 愛知県の広報活動の認知状況

問2 県では、県政に関する情報を様々な方法で提供しています。次の中で、あなたが、見たり聞いたりしたことがある県の広報は何ですか。(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 愛知県が毎月第1日曜日に新聞に掲載している「広報あいち」	76.3	76.6	76.0	81.3	80.0	66.9	51.4	70.3	71.4	83.5	92.8
2 愛知県が提供しているテレビ広報番組	38.7	39.4	38.0	36.0	38.9	41.1	16.7	33.7	46.2	36.7	50.0
3 愛知県が提供しているラジオ広報番組	12.7	14.3	11.2	13.3	13.9	10.6	6.9	7.9	13.2	12.7	18.8
4 パソコン等で見る愛知県のホームページ（「ネットあいち」）	31.8	42.0	22.4	32.7	35.0	27.2	23.6	28.7	37.4	35.4	32.6
5 愛知県のWebマガジン（「Ai県Webマガジン」）	4.0	3.9	4.0	4.7	5.0	2.0	2.8	3.0	5.5	3.8	4.3
6 愛知県の動画サイト（「あいちインターネット情報局」）	2.9	3.5	2.4	3.3	3.9	1.3	4.2	1.0	4.4	3.8	2.2
7 携帯電話で見る愛知県のホームページ（「モバイルネットあいち」）	2.3	1.7	2.8	1.3	2.8	2.6	8.3	1.0	0.0	0.0	2.9
8 愛知県が発行している刊行物、パンフレットなど	52.2	54.1	50.4	52.0	53.3	51.0	40.3	41.6	52.7	48.1	68.1
9 公共の場などに掲出されているポスターなど	54.3	48.1	60.0	61.3	55.0	46.4	52.8	59.4	54.9	54.4	50.7
10 県庁や県民生活プラザなど県の機関の窓口	16.6	17.3	16.0	19.3	15.6	15.2	22.2	6.9	16.5	13.9	22.5
11 新聞記事やテレビ・ラジオのニュースなどのマスコミによる報道	69.0	68.8	69.2	73.3	69.4	64.2	50.0	68.3	67.0	68.4	81.2
12 市町村が発行している広報紙（誌）	58.8	53.2	64.0	49.3	64.4	61.6	50.0	59.4	61.5	53.2	64.5
13 どれも無い	2.1	1.7	2.4	3.3	0.6	2.6	11.1	2.0	0.0	0.0	0.0
14 その他	1.7	2.2	1.2	0.0	2.2	2.6	1.4	0.0	0.0	3.8	2.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 3 愛知県の広報の印象

問3 県では、新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどを使って様々な情報を県民の皆様を提供していますが、あなたは、県の広報について、どのような印象をお持ちですか。(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 役に立つ	51.4	48.5	54.0	52.7	50.6	51.0	33.3	40.6	50.5	58.2	65.2
2 わかりやすい	37.8	35.1	40.4	31.3	42.2	39.1	9.7	27.7	41.8	35.4	58.7
3 親しみやすい	23.7	22.1	25.2	25.3	21.7	24.5	18.1	14.9	22.0	29.1	31.2
4 あまり役に立たない	18.3	25.5	11.6	18.0	17.2	19.9	19.4	22.8	16.5	19.0	15.2
5 むずかしい	9.4	6.5	12.0	10.7	6.7	11.3	18.1	10.9	5.5	5.1	8.7
6 堅苦しい	24.1	26.8	21.6	28.0	25.6	18.5	23.6	22.8	22.0	26.6	25.4
7 その他	9.6	12.6	6.8	12.7	8.3	7.9	12.5	10.9	11.0	5.1	8.7
8 わからない	6.2	5.6	6.8	6.7	5.0	7.3	11.1	6.9	5.5	7.6	2.9
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

### 4 愛知県からの情報の充足感

問4 県は、県民の皆様には様々な情報を提供していますが、欲しい情報は足りていると感じていますか。もっとも近いものを選んでください。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 十分足りている	4.0	3.5	4.4	2.0	3.9	6.0	1.4	3.0	5.5	2.5	5.8
2 ある程度足りている	41.2	37.7	44.4	38.0	42.8	42.4	34.7	30.7	40.7	44.3	50.7
3 あまり足りていない	39.5	42.0	37.2	43.3	40.0	35.1	34.7	49.5	45.1	36.7	32.6
4 まったく足りていない	7.1	8.2	6.0	8.7	5.0	7.9	16.7	5.0	5.5	7.6	4.3
5 わからない	7.9	8.2	7.6	7.3	8.3	7.9	12.5	11.9	3.3	7.6	5.8
無回答	0.4	0.4	0.4	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.3	0.7

問5 問4で、「3」または「4」のいずれかを選んだ方のみお答えください。

どのような情報が不足していると感じていますか。(回答はいくつでも)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	224	116	108	78	81	65	37	55	46	35	51
1 福祉、融資など各種の制度や手続の方法	24.5	24.7	24.4	29.3	22.2	22.5	30.6	27.7	23.1	30.4	16.7
2 イベントや行事などの案内、講座受講生等の募集	33.3	32.9	33.6	40.0	33.9	25.8	34.7	41.6	38.5	26.6	26.8
3 施設の紹介・利用案内	28.1	29.4	26.8	34.0	26.1	24.5	36.1	30.7	26.4	25.3	24.6
4 環境対策、治安・防災対策、産業・雇用対策など県の施策や事業	23.3	26.4	20.4	28.0	21.1	21.2	20.8	23.8	24.2	19.0	26.1
5 施策や事業の計画段階・見直し段階の内容	18.1	22.9	13.6	24.7	17.2	12.6	16.7	17.8	20.9	13.9	19.6
6 県が今問題・課題と考えている事項	29.9	33.3	26.8	32.7	29.4	27.8	27.8	27.7	38.5	27.8	28.3
7 予算・決算・議会の情報	14.8	17.7	12.0	17.3	13.9	13.2	16.7	11.9	15.4	15.2	15.2
8 大規模災害や感染症などの緊急事態における情報	14.3	11.7	16.8	16.0	15.0	11.9	9.7	19.8	16.5	15.2	10.9
9 県の歴史や名所、文化、物産	13.1	14.3	12.0	17.3	11.1	11.3	15.3	13.9	16.5	6.3	13.0
10 地域の話（県内で活躍する人や団体など）	12.7	14.7	10.8	13.3	15.0	9.3	18.1	12.9	15.4	10.1	9.4
11 その他	2.9	4.3	1.6	4.0	2.8	2.0	4.2	5.0	1.1	2.5	2.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 5 愛知県の広報活動に対する評価

問6 あなたは、全体として、県が行っている県民の皆様に対する広報をどのように評価されていますか。もっとも近いものを選んでください。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 十分評価する	6.2	3.9	8.4	4.0	7.2	7.3	4.2	4.0	6.6	3.8	10.1
2 ある程度評価する	58.4	55.8	60.8	59.3	59.4	56.3	43.1	63.4	59.3	55.7	63.8
3 あまり評価しない	23.7	27.7	20.0	25.3	23.9	21.9	29.2	23.8	27.5	26.6	16.7
4 まったく評価しない	2.3	3.5	1.2	3.3	1.1	2.6	6.9	0.0	1.1	3.8	1.4
5 わからない	4.0	3.5	4.4	3.3	2.8	6.0	12.5	5.9	0.0	3.8	0.7
無回答	5.4	5.6	5.2	4.7	5.6	6.0	4.2	3.0	5.5	6.3	7.2

## 6 充実すべき広報

問7 今後、県の広報を充実させるためには、どのような方法を取るのが効果的だと思いますか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 新聞広報（「広報あいち」）の充実	65.9	66.7	65.2	74.7	63.3	60.3	44.4	59.4	61.5	67.1	84.1
2 テレビ・ラジオ広報番組の充実	36.6	32.0	40.8	36.0	32.8	41.7	27.8	31.7	29.7	40.5	47.1
3 パソコン等で見るホームページ（「ネットあいち」）の充実	25.8	35.5	16.8	24.7	26.1	26.5	26.4	33.7	28.6	24.1	18.8
4 Webマガジン（「Ai県Webマガジン」）の充実	3.3	3.9	2.8	3.3	3.9	2.6	5.6	2.0	5.5	3.8	1.4
5 動画サイト（「あいちインターネット情報局」）の充実	2.1	3.5	0.8	2.7	1.7	2.0	4.2	1.0	2.2	1.3	2.2
6 携帯電話で見るホームページ（「モバイルネットあいち」）の充実	2.9	3.5	2.4	3.3	2.8	2.6	5.6	5.0	2.2	2.5	0.7
7 コミュニティ型のウェブサイト（ミクシィ、ツイッターなど）の活用	6.9	6.9	6.8	6.7	7.8	6.0	19.4	5.9	5.5	6.3	2.2
8 刊行物、パンフレットの充実	22.7	24.2	21.2	29.3	20.0	19.2	20.8	25.7	20.9	19.0	24.6
9 DVD（ビデオ）による広報の充実	0.6	0.9	0.4	0.7	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0	2.5	0.7
10 「県政お届け講座」など直接出向く広報の充実	4.4	2.6	6.0	2.7	5.6	4.6	4.2	3.0	4.4	3.8	5.8
11 記者発表などマスコミによる報道の促進	21.6	25.5	18.0	22.0	22.8	19.9	22.2	21.8	19.8	22.8	21.7
12 市町村が発行している広報紙（誌）との連携	55.1	46.8	62.8	48.0	61.7	54.3	48.6	56.4	60.4	45.6	59.4
13 地域メディア（ケーブルテレビ、コミュニティFM、地域情報誌）の活用	11.4	9.1	13.6	6.0	13.9	13.9	15.3	14.9	14.3	11.4	5.1
14 その他	4.4	5.6	3.2	5.3	5.0	2.6	6.9	3.0	4.4	3.8	4.3
15 わからない	0.6	0.4	0.8	0.7	0.6	0.7	0.0	0.0	1.1	2.5	0.0
無回答	0.4	0.4	0.4	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0

## 7 「広報あいち」の工夫

問8 県では、毎月第1日曜日の新聞に「広報あいち」を掲載しています。

平成22年4月から、紙面を1面から見開き2面へと拡大しましたが、限られた紙面を活用して効果的な広報を行うために重要と思うことは何ですか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 写真やイラストを多用してわかりやすくする	54.7	55.4	54.0	48.7	53.9	61.6	59.7	59.4	54.9	48.1	52.2
2 情報量は減っても良いから、文字を大きくする	12.3	13.0	11.6	13.3	11.7	11.9	4.2	1.0	14.3	21.5	18.1
3 可能な範囲でカラーとする	15.6	11.7	19.2	11.3	17.8	17.2	16.7	21.8	16.5	11.4	12.3
4 毎回テーマを設定してメリハリをつける	50.7	52.4	49.2	50.0	55.6	45.7	34.7	46.5	51.6	59.5	56.5
5 掲載内容の項目を絞り込み、1項目あたりの説明を充実する	21.0	24.7	17.6	25.3	20.0	17.9	15.3	14.9	16.5	26.6	28.3
6 専門用語をできるだけ使わないようにする	34.3	30.3	38.0	37.3	32.8	33.1	41.7	32.7	33.0	32.9	33.3
7 短い簡潔な文章とする	26.6	23.4	29.6	25.3	25.6	29.1	23.6	29.7	28.6	22.8	26.8
8 懸賞などを用意して関心を高める	29.5	27.3	31.6	29.3	31.1	27.8	20.8	38.6	26.4	25.3	31.9
9 その他	8.5	11.3	6.0	8.7	11.1	5.3	6.9	7.9	7.7	8.9	10.1
10 わからない	1.2	1.7	0.8	2.7	0.6	0.7	5.6	1.0	0.0	1.3	0.0
無回答	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0

## 8 テレビ広報番組のあり方

問9 県では、現在、民放5局で、45秒から3分程度のテレビ番組をほぼ毎週1回放送しています。番組をより良くするためには、どのようにすべきと考えられますか。次の中から選んでください。

(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 放送回数が減っても良いので放送時間を拡大して説明を充実させるべき	14.6	17.7	11.6	16.0	13.3	14.6	12.5	8.9	12.1	13.9	21.7
2 放送時間が短くなっても良いので、放送回数を多くして目に触れる回数を増やすべき	39.7	39.0	40.4	36.0	43.9	38.4	31.9	39.6	39.6	46.8	39.9
3 現在のままで良い	11.2	10.0	12.4	13.3	7.8	13.2	4.2	14.9	15.4	7.6	11.6
4 どれともいえない	12.3	12.6	12.0	10.7	13.9	11.9	9.7	12.9	12.1	13.9	12.3
5 視聴したことがないのでわからない	21.2	20.3	22.0	23.3	20.6	19.9	40.3	20.8	19.8	17.7	14.5
無回答	1.0	0.4	1.6	0.7	0.6	2.0	1.4	3.0	1.1	0.0	0.0

## 9 県政への親しみ、関心を喚起する広報

問10 県民の皆様は、県政に対する親しみや関心を一層深めてもらうための広報を検討していますが、あなたは、どのような方法がよいと思いますか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 愛知県のマスコットキャラクターを設ける	29.7	30.7	28.8	33.3	23.9	33.1	41.7	34.7	29.7	21.5	24.6
2 県民が県の広報を利用して直接情報発信できる仕組みを充実する	46.4	46.3	46.4	47.3	47.8	43.7	30.6	37.6	44.0	48.1	61.6
3 県の広報に、県内で活躍する人や団体を紹介するコーナーを設ける	36.2	36.4	36.0	33.3	40.6	33.8	27.8	28.7	39.6	29.1	47.8
4 県民が出演するテレビ・ラジオ広報番組を増やす	21.6	25.1	18.4	22.7	21.1	21.2	18.1	16.8	23.1	22.8	25.4
5 愛知県が県外・海外に誇るものを積極的に情報発信する	39.9	38.5	41.2	46.0	40.0	33.8	31.9	43.6	37.4	38.0	44.2
6 コミュニティ型のウェブサイト(ミクシィ、ツイッターなど)を活用する	15.2	15.6	14.8	16.0	19.4	9.3	29.2	17.8	11.0	20.3	5.8
7 地域メディア(ケーブルテレビ、コミュニティFM、地域情報誌)を活用する	27.2	22.1	32.0	20.0	29.4	31.8	29.2	27.7	29.7	24.1	26.1
8 その他	7.9	11.7	4.4	8.0	7.2	8.6	6.9	7.9	7.7	7.6	8.7
9 わからない	1.7	1.3	2.0	2.0	0.6	2.6	4.2	1.0	1.1	2.5	0.7
無回答	0.2	0.0	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0

## 10 県外に向けた効果的な広報

問11 観光振興や企業誘致、定住促進などを図るため、県外の方を対象に、愛知県のイメージ、好感度を高める情報発信の強化を検討しています。あなたは、県外の方への情報発信としてどのような方法が効果的と考えますか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 愛知県の魅力を表現するキャッチコピーの作成	37.8	35.1	40.4	40.7	36.7	36.4	38.9	26.7	30.8	38.0	50.0
2 愛知県のマスコットキャラクターの設定	32.0	35.9	28.4	34.7	31.1	30.5	40.3	39.6	28.6	34.2	23.2
3 愛知県ゆかりの著名人の協力を得て、愛知県の魅力を発信してもらう	59.0	57.1	60.8	54.7	61.1	60.9	44.4	71.3	61.5	59.5	55.8
4 県外の愛知県人会への積極的な情報提供	16.0	16.5	15.6	17.3	17.8	12.6	13.9	9.9	11.0	12.7	26.8
5 県外で活躍する愛知県政記者クラブOBへの積極的な情報提供	8.7	8.7	8.8	8.7	9.4	7.9	6.9	6.9	5.5	5.1	15.2
6 県外向け専門広報誌を作成し配布する	19.5	17.3	21.6	20.7	19.4	18.5	19.4	17.8	25.3	12.7	21.0
7 インターネットの愛知県のホームページの県外向け情報を充実する	44.1	44.6	43.6	40.7	47.2	43.7	41.7	40.6	45.1	49.4	44.2
8 県東京事務所の広報機能の強化	8.1	9.1	7.2	8.0	8.9	7.3	6.9	7.9	7.7	5.1	10.9
9 その他	8.5	11.7	5.6	12.0	4.4	9.9	11.1	6.9	9.9	6.3	8.7
10 わからない	1.7	1.3	2.0	3.3	1.1	0.7	1.4	4.0	1.1	2.5	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問12 あなたは、愛知県のイメージアップにつながるアピールポイントとして何が良いと思われますか。

(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 日本一のものづくり県	59.5	60.2	58.8	56.7	59.4	62.3	56.9	58.4	59.3	59.5	61.6
2 次世代産業（航空宇宙産業、健康長寿産業など）の振興	25.4	34.6	16.8	26.7	28.9	19.9	18.1	22.8	23.1	22.8	34.1
3 バランスのとれた産業構造	13.5	13.9	13.2	12.7	14.4	13.2	8.3	9.9	13.2	16.5	17.4
4 都市と農山村のバランスの良さ	22.7	18.6	26.4	22.7	25.0	19.9	19.4	21.8	27.5	20.3	23.2
5 自然、景観	12.1	13.9	10.4	12.0	9.4	15.2	12.5	6.9	11.0	13.9	15.2
6 自然との共生、環境先進県づくり	26.8	25.1	28.4	27.3	31.7	20.5	23.6	20.8	16.5	20.3	43.5
7 伝統芸能	7.1	9.1	5.2	6.7	5.6	9.3	4.2	6.9	6.6	8.9	8.0
8 芸術・文化	12.3	10.0	14.4	21.3	7.2	9.3	9.7	7.9	11.0	16.5	15.2
9 名物料理、郷土料理	36.2	28.6	43.2	33.3	37.2	37.7	43.1	52.5	34.1	34.2	23.2
10 武将のふるさと	41.4	36.8	45.6	38.7	43.3	41.7	51.4	46.5	54.9	32.9	28.3
11 愛知県ゆかりの著名人	12.7	12.6	12.8	13.3	7.8	17.9	12.5	15.8	12.1	13.9	10.1
12 その他	6.0	6.9	5.2	5.3	6.1	6.6	8.3	5.9	6.6	5.1	5.1
13 わからない	0.6	0.9	0.4	1.3	0.6	0.0	0.0	1.0	0.0	1.3	0.7
無回答	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7

## 11 愛知県の広聴活動に対する評価

問13 県では、県民の皆様からのご意見やご要望を県政運営の参考にさせていただくため、県政モニターアンケート、県政世論調査、県政懇談会、パブリック・コメント、インターネットによる広聴など様々な広聴活動を行っています。

あなたは、こうした県の広聴について、どのように感じていますか。もっとも近いものを選んでください。(回答は1つ)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 十分行われている	8.7	6.9	10.4	10.0	8.3	7.9	9.7	10.9	9.9	5.1	8.0
2 ある程度行われている	52.4	50.2	54.4	48.7	54.4	53.6	44.4	44.6	46.2	57.0	63.8
3 あまり行われていない	22.2	25.5	19.2	22.0	23.3	21.2	16.7	22.8	31.9	21.5	18.8
4 まったく不十分	5.0	6.9	3.2	6.7	5.0	3.3	8.3	6.9	3.3	5.1	2.9
5 わからない	11.0	9.5	12.4	12.0	8.3	13.2	20.8	14.9	6.6	11.4	5.8
無回答	0.6	0.9	0.4	0.7	0.6	0.7	0.0	0.0	2.2	0.0	0.7

## 12 充実すべき広聴活動

問14 あなたが、今後、県が力を入れるべきと思う広聴活動は何ですか。(回答は3つまで)

	全体	男性	女性	名古屋	尾張	三河	20代	30代	40代	50代	60代以上
総数	481	231	250	150	180	151	72	101	91	79	138
1 知事と県民の皆様が直接意見交換を行う「知事と語るつどい」などの充実	30.6	31.6	29.6	34.7	32.2	24.5	15.3	25.7	35.2	31.6	38.4
2 インターネットによる広聴（「県政へのご提言」など）の充実	33.7	39.8	28.0	32.7	33.9	34.4	36.1	36.6	37.4	35.4	26.8
3 県政モニター制度の充実	31.0	37.2	25.2	36.0	26.7	31.1	29.2	29.7	29.7	26.6	36.2
4 「県政世論調査」などのアンケート調査の充実	33.5	36.8	30.4	32.7	34.4	33.1	43.1	35.6	25.3	27.8	35.5
5 「県政お届け講座」など、県政情報を提供する出張講座の充実	10.0	7.4	12.4	10.0	12.8	6.6	11.1	7.9	12.1	10.1	9.4
6 県施設等の見学会など、県施設に関する情報提供の充実	45.7	42.0	49.2	44.0	50.0	42.4	26.4	51.5	41.8	49.4	52.2
7 県の計画等に提案を行う県民意見提出制度（パブリック・コメント制度）の充実	30.4	29.9	30.8	28.7	31.1	31.1	18.1	31.7	29.7	26.6	38.4
8 県民生活プラザなど、直接相談窓口の充実	30.1	25.5	34.4	35.3	26.1	29.8	34.7	30.7	34.1	26.6	26.8
9 その他	3.5	4.3	2.8	4.0	3.3	3.3	5.6	4.0	1.1	5.1	2.9
10 わからない	1.5	0.9	2.0	2.0	0.6	2.0	4.2	0.0	2.2	1.3	0.7
無回答	0.6	0.4	0.8	0.7	0.6	0.7	0.0	0.0	1.1	0.0	1.4

平成22年度第1回県政モニターアンケート報告書

「愛知県の広報広聴活動」  
平成22年9月発行  
愛知県知事政策局広報広聴課  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話(052)954-6169(ダイヤルイン)

この冊子は、再生紙を使用しています。

